

Idea
Concept
Design

「世界遺産・宮島（厳島神社）」の玄関口
～宮島口を魅力ある未来と世界へつなぐ～
Gateway to Miyajima and the Itsukushima Shinto Shrine, a World Cultural Heritage Site
: Creating a Promising Future for a Globally Connected Miyajimaguchi

宮島口 まちづくり 国際コンペ

International Urban Planning Competition
for Miyajimaguchi Area

予備審査通過 103 作品
作品集
日本語版



「世界遺産・宮島（厳島神社）」の玄関口
～宮島口を魅力ある未来と世界へつなぐ～
宮島口まちづくり国際コンペ
主催/廿日市市
共催/広島県

2016年1月

主催/廿日市市 Organizer: Hatsukaichi City, Hiroshima
共催/広島県 Co-organizer: Hiroshima Prefecture

広島県廿日市市宮島口地区は、世界文化遺産・厳島神社を擁する厳島（通称、宮島という）の対岸に位置します。厳島神社は、6世紀に創建が始まり、古くからこの地区は港湾として発展してきました。厳島神社への渡航口としてだけでなく、江戸時代には北前船等の商船が立ち寄る港としても繁栄しました。また古くから宮島とかかわりの深い地区で、明治維新までは厳島の島内で習慣的に禁忌とされてきた出産や埋葬の地であり、宮島と強く結びついていました。

明治時代以降は、宮島駅（現在の JR 宮島口駅）や私営棧橋、広島電鉄宮島線の開業によって本土と宮島を結ぶ交通の結節点としての機能が強化され、この間2度の埋め立てによって現在のような姿となりました。

古くから日本三景のひとつとして知られ、平成8年（1996年）には厳島神社が世界文化遺産に登録されました。海と島と歴史文化が一体化した宮島・厳島神社は類まれなその魅力で、今では年間400万人の人が国内外から訪れています。

宮島口地区は、山地が海岸線まで迫っているその地形的な制約などから、ほぼ宿命的とも言えるまちづくりの課題を抱えています。このことは、交通の結節点として機能を充実していくには不十分な土地の広さ、鉄道、国道などの国土軸でもある幹線交通網が地区を横切っているなど、地区の構造上の問題として表れています。

その結果、行楽シーズンの著しい交通渋滞の発生、世界遺産を擁する“宮島への玄関口”に相応しいとはいえない難い景観、観光客の滞留スペースがないために単なる通過点となっているなどの問題が生じています。また、港湾施設の老朽化も大きな問題です。

廿日市市では、このような宮島口地区の様々な課題を克服し、さらに観光客の歓迎空間の形成やアメニティの向上、歴史文化の発信機能の強化などを図り、宮島口地区を廿日市市のシンボリックなゾーンのひとつとして考えています。そのためまちづくりとして、廿日市市では、宮島口棧橋周辺の港湾整備とその周辺のまちづくりをセットにした取り組みを進めているところです。このまちづくりの基底には、昭和38年（1963年）以来、50余年ぶりに取り組まれる埋立工事があります。この埋立工事によって造成される約1haの土地が、この地区のまちづくりの新たな“タネ地”です。この土地をタネ地にして、当地区で課題となっている「旅客ターミナルの機能充実（新たな棧橋の整備も含む）」「臨海緑地の整備」「交通渋滞の解消」にまず対応します。併せて、こうした事業をトリガーとして、地区全体の課題である景観の向上、賑わいの創出、観光魅力の向上、生活の利便性の向上などを図り、地区全体としてのまちづくりを進めていくものとしています。

こうしたまちづくりを、私たちは住民参加のもとに進めたいと考えています。そのためには、まちづくりの事業を、個々の領域においてバラバラに進めていくのではなく、例えば地区全体の10年後20年後のおおまかな姿をみんなで共有しながら進めていく必要があると考えています。そうしたまちの将来像の実現に向けて、できるだけ早く「ランドデザイン」の策定を進める予定です。

この宮島口の将来像は、「世界遺産・宮島」の玄関口として『宮島口を魅力ある未来と世界へつなぐまち』にしたいと考えています。

そのランドデザインを検討・策定していくにあたり、世界の専門家の皆様から様々なアイデアを提供していただくために、この「宮島口まちづくり国際コンペ」を実施するものです。世界の専門家の皆様にも、私たちのまちづくりにぜひ“参加”“協働”していただきたい、困難な条件を乗り越えながらともに宮島口を世界とつながるまちにしていきたいと考えています。

皆様のアイデアが、ランドデザインのもとになり、ひいては宮島口地区を世界の人々を迎えるにふさわしいまちへとつくりかえることとなります。

皆様から、すばらしいまちづくりのアイデアが寄せられることを楽しみにしています。

メインテーマ

「世界遺産・宮島（厳島神社）」の玄関口 ～宮島口を魅力ある未来と世界へつなぐ～

宮島口の対岸の島・宮島には世界文化遺産に登録された厳島神社があります。世界遺産とは「地球の生成と人類の歴史によって生み出され、過去から現在へと引き継がれてきたかけがえのない宝物です。現在を生きる世界中の人のびとが過去から引継ぎ、未来へと伝えていかなければならない人類共通の遺産です。」とユネスコの世界遺産条約で謳われています。

この「人類共通の遺産」のある島の対岸に位置する宮島口は、前述のように、宮島とともに歴史・文化のなかで発展してきたまちです。

今回この国際コンペの提案対象地区にしているのは宮島口の一部で、広さにすれば15haの小さな空間です。しかし背後には人類共通の遺産である千年の歴史文化と、美しい瀬戸内の自然・景観があります。私たちは、世界遺産・厳島神社（宮島）とその背後にあるものを未来と世界へとつなぐまちとして、宮島口のまちづくりを進めていきたいと考えています。

サブテーマ

1. 景観形成（建築物、施設、空間のあり方、外観を含む）

宮島に渡るためには、この地区で鉄道、バス、自動車などから降り、フェリーに乗り換えなければなりません。「宮島へ行く、訪れる」ことはこの地区から始まります。また宮島とはこの地区で別れます。宮島の第一印象と余韻の形成はこの地区が担っています。それにふさわしい景観の形成が必要です。

2. 賑わい創出（新しい機能、まち全体の回遊性・滞留性など）

今この地区はいわば宮島に渡るための乗り換え場、通過地点として機能しています。しかしこの地区を、宮島に渡ることや宮島から帰ってくることも含めて、「宮島」の1つのスポットにしたいと考えています。そのためにはこの地区が新たな魅力や機能を持ち、人々が地区に滞留し、地区を回遊するようにし、この地区に賑わいを創り出していかねばなりません。

3. アメニティ向上（交通円滑化、人の動線、サービス、環境など）

地区の印象や価値は、その地区の全体的な快適さ（アメニティ）にも大きく左右されます。この地区は交通の結節点であり、一方で地区を幹線道路が横切っているという構造をもっています。こうした条件を考慮し、地区内のクルマ・人の交通を円滑化する必要があります。単に物理的な整備だけではなく、情報の提供や「もてなし」をすることも地区のアメニティの向上につながります。なお、アメニティの向上の土台として地域の安全性が確保されなければなりません。このことから、海岸沿いである提案対象区域については、防災面にも配慮すべきと考えています。

委員紹介

委員会委員

委員長

岸井 隆幸 日本大学理工学部教授（専門：都市計画、交通計画等）
 1975年東京大学工学部都市工学科卒業後、同大学院修士課程修了。77年建設省入省後、95年日本大学助教授などを経て、98年現職に就任。日本都市計画学会会長、東京都「景観審議会」会長、新国立競技場基本構想国際デザイン競技委員、渋谷駅まちづくり調整会議副座長、(独)都市再生機構「事業評価監視委員会」副委員長、熊本県「熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議」座長などを歴任。2010年日本都市計画学会「2009年年間優秀論文賞」などを受賞。
 著書：「駐車場からのまちづくり：都市再生のために」など。

委員

(五十音順・敬称略)

安藤 忠雄 建築家
 世界各国を旅した後、独学で建築を学び、1969年安藤忠雄建築研究所を設立。2003年に東京大学名誉教授に就任。11年東日本震災復興構想会議議長代理を歴任。1979年「住吉の長屋」で日本建築学会賞、85年アルヴァ・アアルト賞、93年日本芸術院賞、95年プリツカー賞、2002年AIAゴールドメダル、10年文化勲章、13年フランス芸術文化勲章コマンドールなどを受賞。代表作：「光の教会」「フォートワース現代美術館」「プンタ・デラ・ドガーナ」など。
 著書：「建築を語る」「連戦連敗」「仕事をつくる」など。

上田 宗岡 茶道上田宗箇流 家元
 1968年慶應義塾大学経済学部卒業、72年戦国武将茶人上田宗箇が興した上田宗箇流家元若宗匠を継承、95年上田宗箇流家元を継承後、現在に至る。87年中国重慶市の日本庭園内茶室指導監修、88年広島市がドイツ・ハノーバー市に寄贈した茶室「洗心亭」の設計、同年広島国際会議場（丹下健三氏設計）内茶室設計監修、2003年賀茂鶴迎賓館を監修、08年日本で初となる主要国（G8）下院議長会議（議長サミット）が広島で開催時に茶のもてなしを行う。（社）青少年育成広島県民会議会長、（財）広島市文化財団理事などを歴任。
 著書：「上田宗箇流茶の湯 入門編」、「日々ごゆだんなきよう」など。

堀 繁 東京大学アジア生物資源研究センター教授（専門：景観工学、計画設計思想史等）
 1976年東京大学農学部卒業後、環境庁自然保護局主査、東京大学農学部助手、東京工業大学社会学部助教授などを経て、96年現職に就任。国土審議会、歴史的風土審議会、国会等移転審議会の各専門委員、埼玉県「景観審議会」会長、千葉県成田市「景観計画策定審議会」会長などを歴任。商店街・観光地等の集客地の活性化、街路・公園等公共施設の魅力づくりのアドバイザーとして活躍。
 著書：「景観からの道づくり」など。

【主催者側委員】 **眞野 勝弘** 廿日市市長

石川 幹子 中央大学理工学部教授、東京大学名誉教授（専門：環境デザイン、都市環境計画等）
 1972年東京大学農学部卒業後、ハーバード大学デザイン学部大学院、東京大学大学院農学系研究科博士課程修了。慶應義塾大学環境情報学部、東京大学大学院工学系研究科の各教授などを経て、2013年現職に就任、同年東京大学名誉教授に就任。東京都「公園審議会」、横浜市「緑の審議会」の各委員、宮城県岩沼市震災復興会議議長などを歴任。08年土木学会デザイン賞最優秀賞「各務原（学びの森）」などを受賞。
 著書：「都市と緑地」、「流域圏プランニングの時代」など。

橋爪 紳也 大阪府立大学21世紀科学研究機構教授・同大観光産業戦略研究所所長、大阪府・市特別顧問など（専門：建築史、観光政策論、都市文化論等）
 1984年京都大学工学部建築学科卒業後、京都大学大学院工学研究科修士課程、大阪大学大学院工学研究科博士課程修了。工学博士。京都精華大学人文学部助教授、大阪府立大学大学院文学研究科・同大都市研究プラザ教授などを経て、現職に就任。国際日本文化研究センター客員教授、大阪府市「文化振興会議」会長、大阪府市「都市魅力戦略推進会議」会長、大阪市「都市計画審議会」副会長、京都市観光振興審議会会長などを兼職。
 著書：「日本の塔 タワーの都市建築史」「水都大阪」物語「瀬戸内海モダニズム周遊」など。

本保 芳明 首都大学東京都市環境学部教授（専門：観光政策学等）
 1974年東京工業大学大学院理工学研究科修了。同年運輸省入省後、経済協力開発機構日本政府代表部勤務、建設省都市局都市再開発課長、運輸省運輸政策局観光部企画課長、日本郵政公社理事などを経て、国土交通省観光庁長官に就任。退職後、2010年より現職。2013年より世界観光倫理委員会委員。2014年1月観光庁参与、同11月東京工業大学特任教授に就任。

部会委員

部会長

橋爪 紳也 同上 ※委員会委員と兼務

部会委員

(五十音順・敬称略)

市川 尚紀 近畿大学工学部建築学科准教授（専門：建築設計、パッシブデザイン等）
 1993年東京理科大学工学部建築学科卒業後、内井昭蔵建築設計事務所チーフデザイナー、東京理科大学工学部建築学科補手、近畿大学工学部建築学科講師などを経て、2012年現職に就任。日本建築学会「都市の水辺小委員会」主査などを歴任。研究テーマは「伝統的集落の空間構成」「パッシブデザイン」「水辺の社会実験」「古民家再生」など。

フंक・カロリン 広島大学大学院総合科学研究科教授（専門：観光地理学等）
 フライブルク大学で地理学と歴史学を修め、1987年愛媛県松山市に留学生として来日。松山大学、神戸学院大学、立命館大学等のドイツ語講師を務める。1998年にフライブルク大学博士課程修了、広島大学大学院総合科学研究科助教授を経て、2014年現職に就任。広島県「観光立県推進会議」委員などを歴任。現在の主なフィールドは瀬戸内海。研究テーマは「持続可能なツーリズム」「日本における観光開発」など。

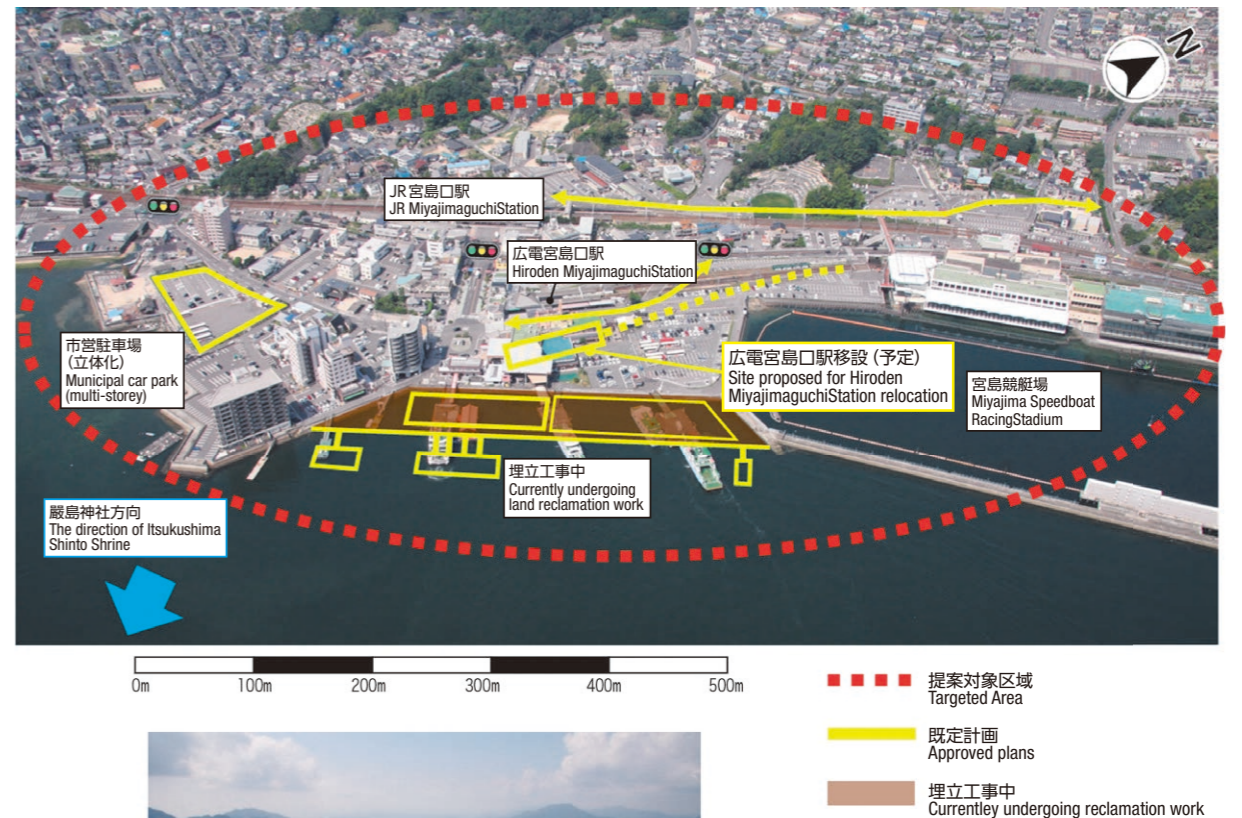
今川 朱美 広島工業大学工学部都市デザイン工学科准教授（専門：都市地域計画等）
 グラスゴー大学大学院建築学修士取得、京都大学大学院工学研究科修了環境地球工学専攻にて「環境共生地域づくりの理念分析とその計画化（2002年）」で博士（工学）取得、日本学術振興会特別研究員、広島工業大学工学部助教などを経て、2011年現職に就任。広島県景観アドバイザーなどを歴任。研究テーマは「持続可能社会と環境共生地域づくり」「美しいまち（都市デザイン）について」「愛されるまち（コミュニティ）について」など。

【主催者側関係行政委員】 **石岡 輝久** 広島県土木局都市技術審議官
原田 忠明 廿日市市副市長

一般事項

- (1) 実施主体 主催：廿日市市 共催：広島県
- (2) 応募資格 国籍、資格は問わない。個人または個人のグループ
- (3) 使用言語 日本語または英語
- (4) 提案対象区域 廿日市市宮島口地区
- (5) メインテーマ 「世界遺産・宮島（厳島神社）」の玄関口
 ～宮島口を魅力ある未来と世界へつなぐ～
- (6) サブテーマ 「景観形成」「賑わい創出」「アメニティ向上」
- (7) 提案内容 グランドデザイン策定に向けたまちづくりのアイデア
 ①まちづくりのコンセプト及び全体デザイン
 ②アーバンデザイン及び導入を図るべき施設・機能の具体的アイデア
 ③事業推進の工夫
- (8) 応募作品 ①冊子（論文）②パネル（A1サイズ2枚以内）③要約冊子
- (9) 賞金総額 850万円（優秀賞3点（賞金各200万円）、佳作5点（賞金各50万円））
- (10) 登録受付期間 2015年2月6日～3月27日
- (11) 作品受付期間 2015年5月11日～6月30日
- (12) 委員 岸井隆幸、安藤忠雄、石川幹子、上田宗岡、橋爪紳也、堀繁、本保芳明、眞野勝弘 ほか
- (13) 応募作品一般公開 2015年9月8日～10月16日
 （廿日市市役所ロビー、廿日市市役所大野支所、はつかいち美術ギャラリーほか）
- (14) 最終審査・表彰式 2015年10月17日（はつかいち文化ホールさくらびあ）
 ※最終審査は公開プレゼンテーション

提案対象区域航空写真



応募登録及び作品応募状況

(1) 登録数

	国内	国外	合計
登録数	889	115	1,004
国内外割合 (%)	88.5	11.5	100

*29カ国 (上位5カ国: 中国31、ロシア15、ドイツ11、ブルガリア7、アメリカ7)
 (注)グループ応募の場合は代表者の住所による。

(2) 応募状況

	国内	国外	合計
応募数	215	15	230
国内外割合 (%)	93.5	6.5	100

*9カ国・地域
 (注)グループ応募の場合は代表者の住所による。

国内国外地域別応募数

国・地域		応募数	比率 (%)
国内	廿日市市	14	6.1
	広島県 (廿日市市を除く)	45	19.6
	中国地方	2	0.9
	関東圏	84	36.5
	近畿圏	35	15.2
	その他国内	35	15.2
	(小計)	215	93.5
国外	ロシア	3	1.3
	米国	2	0.9
	フランス	2	0.9
	ブルガリア	2	0.9
	中国	2	0.9
	ドイツ	1	0.4
	スイス	1	0.4
	英国	1	0.4
	香港	1	0.4
	(小計)	15	6.5
	合計	230	100.0

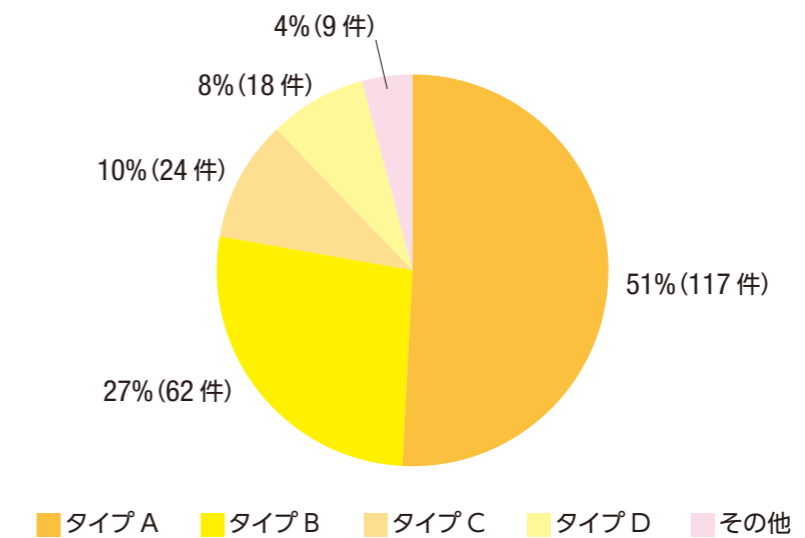
(注)グループ応募の場合は代表者の住所による。

応募者の職業・所属

	比率 (%)		
	国内	国外	小計
大学教員	37 (16.1)	2 (0.9)	39 (17.0)
学生・院生	32 (13.9)	2 (0.9)	34 (14.8)
建築事務所、建築家	81 (35.2)	8 (3.5)	89 (38.7)
都市計画コンサルタント	14 (6.1)	0 (0.0)	14 (6.1)
シンクタンク、デザイン、住宅・不動産、その他サービス	13 (5.7)	1 (0.4)	14 (6.1)
ゼネコン、デベロッパー	6 (2.6)	0 (0.0)	6 (2.6)
その他	32 (13.9)	2 (0.9)	34 (14.8)
小計	215 (93.5)	15 (6.5)	230 (100.0)

(注)グループ応募の場合は代表者の職業等による。
 比率は四捨五入により、小計は合っていない。

応募作品内容の傾向



[類型の説明]

タイプ A	地域のゾーニング、主要施設や道路の配置など全体的な都市計画を中心とする提案
タイプ B	主要施設の外観、デザイン・機能、道路のデザインなどを中心とする提案
タイプ C	眺望や景観・ランドスケープなどを中心とする提案
タイプ D	地域住民の暮らしや観光客へのサービス、まちのあり方、まちづくりの仕掛けやアイデアを中心とする提案

1.予備審査

1.1 審査結果

平成 27 年 7 月 31 日（金）午前 9 時より、廿日市市役所 7 階会議室で予備審査会を開催した。

提出された 230 作品を対象に、縮小版の作品を事前に委員に送付し、当日も A1 版の作品を確認した上で、部会委員 6 名による投票（各部会委員 40 作品程度）及び討議を行った。

その結果、得票 1 票以上の 103 作品について、再度 A1 版の作品を確認した上で、予備審査通過作品とした。

1.2 講評

○今回のコンペの審査の視点は、①設定したテーマへの対応、②独創性、③実現性の 3 つである。この 3 つの視点が並立しているか、すべてを満たしているのか、これらのバランスがどうとられているかが評価のポイントであった。

○とくに独創性と実現性は、しばしば相反する性質のもので、そのバランスをみて、実現不可能と判断される提案は基本的に選ばれなかった。

○ただしコンペという性格から、提案がなんらかの主張をしているもの、全体的に平均点のものであったとしても、ここだけは譲れないという強いアピールポイントがあるものは、最終的には残していくようにした。

○本コンペでは、提案内容における時間概念が重要である。近々に整備すべきもの（第 1 期整備）ではその実現性が重要となる。中長期で考えていくべきエリアというのは、むしろ“夢”というべき要素が必要である。港湾の旅客ターミナル側は短期に整備すべきエリアであり、公共空間の整備は中期のエリアで、既成の市街地の再編はさらに長いスパンで考えるべきものとなる。このように 2 枚のパネルの絵の中に描き込まれた複数の時間軸を考慮しながら選考した。



2.本審査

2.1 1次審査結果

平成 27 年 8 月 27 日（木）午後 1 時より、広島県民文化センター地下 1 階第 1 展示室で本審査（1 次審査）を開催した。

(1) 1次選定

予備審査通過作品（103 作品）を対象に、縮小版の作品を事前に委員に送付し、当日も A1 版の作品を確認した上で、出席された委員 7 名による投票（各委員 10 作品）及び討議を行った。

その結果、得票 1 票以上の 45 作品を本審査 1 次通過作品とした。

(2) 2次選定

本審査 1 次通過作品 45 作品のうち、得票 2 票以上の 15 作品をその候補とした上で、得票 1 票以上の作品であっても残すべきものはないかを討議した。その結果、5 作品が推薦されたが、その推薦を支持する意見はなかったため、候補とした得票 2 票以上の作品 15 作品を本審査二次通過作品とした。

(3) 3次選定

本審査 2 次通過作品 15 作品について、1 作品ずつ委員全員で討議した後、1 人 3 作品を再度投票することとした。

その結果、得票 1 票以上の作品は 10 作品であり、得票がなかった 5 作品を選外とした。

得票 1 票以上の 10 作品のうち、再度 1 作品ずつ委員全員で討議した後、得票 2 票以上の 6 作品を入賞候補作品とした。

入賞候補の残り 2 作品を選定するため、得票 1 票の 4 作品について委員が推薦理由を説明した上で、投票・討議を行いながら、残り 2 作品を選定し、合計として入賞作品候補 8 作品を決定した。

なお、10 月 17 日の 8 作品の公開プレゼンテーションによる最終審査による選考にあたっては、これまでの審査における 8 作品の選考経過、得票数等は考慮せず、改めて審査を行うことを確認した。

(4) 特別賞について

委員長からの提案で、外国人による応募作品 1 点を特別賞とする提案があり、外国からの応募作品の中では最もレベルの高い作品番号 230 番の作品を特別賞とすることとした。

※なお、特別賞は、賞金はなく、プレゼンテーションも行わないことも確認した。

○入賞作品の確定

本審査会後、入賞候補作品 8 作品の提案代表者より、「募集要項」、「知的財産権関連」等の遵守について宣誓書を受け取り、委員会から候補とされた 8 作品を入賞作品として確定した。



2.2 最終審査（公開プレゼンテーション）

平成 27 年 10 月 17 日(土)午後 1 時より、はつかいち文化ホールさくらびあ大ホールで最終審査(公開プレゼンテーション)を開催した。

(1) 公開プレゼンテーション

①作品ごとに持ち時間 7 分間のプレゼンテーションを実施。プレゼンテーションは各提案者が作成したパワーポイントをスクリーンに映写しつつ実施。

(注：パワーポイントの内容は提出物の記述内容のみを用い、新たな要素の付加は認めなかった。)

②プレゼンテーション後、委員と提案者の質疑応答を 10 分間行った。



(来場者数 540 人)

(2) 審査

公開プレゼンテーション後、別室で非公開の審査会を開催し、入賞 8 作品から優秀賞 3 作品、佳作 5 作品を選出した。その経過は以下の通り。

まず、番号 1～8 の順に、プレゼンテーション・質疑応答を踏まえて、1 作品ずつ委員全員で討議した後、1 人 3 作品を投票することとした。なお、欠席委員は事前に投票をしており、それを反映させた。

その結果、最も得票の多かった 2 作品（同数票）を優秀賞とし、優秀賞の残り 1 作品を選定するため、次点であった 4 作品を優秀賞の対象として、出席された委員 7 名で投票・討議を行い、残り 1 作品を優秀賞として決定した。

これにより、優秀賞 3 作品と佳作 5 作品が決定された。



2.3 当日出席委員の講評

岸井委員長

このコンペは言うまでもなく、世界遺産厳島神社・宮島の玄関口である宮島口の未来について、これからどうあるべきかを問うコンペでございます。市民の方も含めて、国内外から大変多数の方に創意溢れる作品をご応募いただきました。感謝を申し上げます。

最終的には、今日ご発表いただいた 8 作品、なかでも 3 作品が優秀賞になったわけですが、本地区の未来、その実現可能性も考慮しながら、夢、独創性と、そういったものをもってご提案をされ、宮島・宮島口を訪れる方々、

そして住んでいらっしゃる方々から幅広く共感を得られるような、そういう作品が結果的に高い評価を得たと考えております。

もちろん今日受賞された 3 作品、あるいは入賞 8 作品のみならず、230 の作品にはそれぞれご提案された方の強い思いと優れたアイデアが多数含まれておりました。ぜひこうした様々なアイデアを今後のまちづくりにご活用いただきたいと強く考えております。

今日ここで発表された皆さまには、作品に対して長時間を費やしていただきましたし、今日はほぼ丸一日ここにお越しいただきまして、様々な意見交換をさせていただきました。ぜひこれからも、こうした様々な意見交換が、本宮島口の更なる発展のためにお役に立つことを期待したいと思います。

石川委員

これだけのたくさんの応募が、海外も含めてあり、しかも、すぐれた作品が数多く寄せられて、宮島というものはやはり大したものだと、改めて思っております。

宮島には、世界からたくさんの方が訪れます。人間がこれだけ素晴らしい文化的な財産をつくることできるという、それを期待して、皆さんがいらっしゃるわけです。

230 の作品には、宮島に対する敬意の念が深く存在しており、環境と文化、そして人間、この融合をどのようにしたら未来につないでいくことができるかと、そういう極めて本質的な意義のあるコンペであったと私は思っております。

私は造園分野の専門でございますので、今回全体を通して、自然の読み込み、森とか、海とか、そういったものの読み込みの力が弱くなっていることを、ひしひしと感じました。今日残ったデザインは、そのなかでも何とかして読み込もう、何とかして自然と人間との関わりの文化のエッセンスというものを形にしようと考え、その努力が形として表れた作品が結果として残ったのではないかと私は思っております。

もう一つの課題は、伝統です。伝統というのは古いものではありません。私は庭園の研究をしておりますが、江戸時代の人のほうが、この厳島神社、宮島のほうが私たちよりもはるかに革新的。伝統とは革新です。この考え方をどんなふうにもグランドデザインにして、将来着地していくか、まさに革新的な試みの一歩が、今日から始まるのではないかと思います。その意味で大変意義のある国際コンペであったと私は思います。

上田委員

私自身は、代々武家茶道を伝えている家ですし、日頃そういう思いで日々を過ごしているもので、今回自分自身は、先ほど墓所の話をしましたけれど、神社の方に、厳島の方にどんな視点が向いているかどうか、それともう一つは参道という基軸がしっかりしているかどうか、それから通過点ではなくて地元の人も含めてそこだけの回遊の可能性を追求しているかどうか、私は建築の専門家ではありませんので、それらを思いながら自分なりに一生懸命審査をさせていただきました。

今日のプレゼンテーションで改めて思いましたのは、図面を一生懸命見るわけですが、プレゼンテーションをされているのを見ると、やはり図面が生き生きと、皆さんもお感じになったと思いますが、図面が語りだすというか、呼吸を持つというのですか、ああやっぱりプレゼンって大きいなと、今日はその部分では得難い経験をしたと思います。

橋爪委員

私はこの国際コンペを立ち上げるときから、事務局と一緒にどのようなコンペをしたら良いのか、枠組みを考える役割を担ってまいりました。

廿日市市はもとより、広島県の都市計画担当部局としても、これまでこのような、世界からアイデアを集める国際的なコンペを実施した経験がありませんでした。私は、京都や大阪のコンペに関わってまいりましたので、その経験を申し上げながら、今回のコンペを進めさせていただきました。本当に今日、この日まで進めることができ、特別な感慨がございます。

要項を作っていくなかで、今回のコンペは難しいと思いました。相いれないことを提案者に求めております。例えば、独創性と実現性の両方を満たすことを要求しました。独創的なアイデアはいろいろと湧くでしょうが、それを実現させる方法論を示すことはなかなか難しいものです。

また、短期で実現すべき当面の計画と、未来におよぶ中長期の提案を同時に求めた点も、今回のコンペの特徴であると思います。たとえば、交通渋滞の解決など当面の課題解決の手法を求めながら、将来的な魅力づくり、多くの方々を訪れていただき、滞在していただく提案も必要としました。

応募された方は、様々に相反する求めに、ずいぶん苦勞をされたのではなかろうかと思います。すべての要求を満たそうとされて、「総花的」といいますか、あまり特徴のない案になった作品もありました。一方で、一つの点を重視するばかりに、全体の提案としては問題が多いと評価された提案もありました。

ともあれ、このような難しさを克服しつつ、多くの優れた提案をいただきました。審査においては、できるだけ多様な提案を残していこうと考え、最終的に本日、佳作及び優秀賞の選定に到りました。

また当初より、多様なアイデアが世界から集まるこの機会に、外からの視点では、宮島口はどのように評価され、また、こういう可能性のある場所だと思われるということ、ぜひ地域の方々、地元の方々にもわかっていただきたいという思いがございました。したがって本日、このような公開プレゼンテーション、および公開審査の場が必要だと強調して参りました。本日、この場に本当に多くの方に参集いただき、希望を実現することができました。

国際コンペは本日で終わりますが、地元のまちづくりはこれから始まります。本日は「終わりの日」ではなく、「始まりの日」であるということを強調させていただいて、私からの講評とさせていただきます。

堀委員

たくさんの方が会場にいらっしゃっていますが、手をあげていただきましたところ、半分以上が地元の方のようですね。本日のコンペに地元の皆さんの関心が高いということと思いますが、コンペに集まった皆さんの作品を、これから皆さまが料理して、いいまちづくりのヒント、手掛かりにしていくわけですが、その時の使い方について少しお話をさせていただきたいと思います。

今日のこの皆さんの作品のなかには、作品を作る側のスタンスとして、主に二つの立場がございます。一つは地域の人たちから見て、どういうまちになったら良いのかという、地域に根ざしたスタンスです。もう一つはよそから見て、宮島口はこういうふうになってくれるといいなあ、というよそから見て望ましいまちの形、そういうスタンスです。この二つのスタンスが作品の中に混在していますので、まずはそれは少し仕分けしてください。住んでいる人たちから見た望ましいまちというのと、来訪者から見た望ましいまちという、両方が必要ですがこれらは違いますので、この二つは整理してお考えいただけるといいかなと思います。

もう一つの大きな切り口は全体とディテールです。一つはどういう都市の骨格を作っていくのかという提案が一方であって、もう一つはそこどころではなくて、もう少し細かいディテールのところとか、場合によってはソフトのところとか、どうやって使い込んでいくか、どうやって居心地良くしていくかという、ディテールの、小さいところの提案。この二つもやはり違うところでございます。

最も重要な今回のコンペの特徴は、アイデアコンペであるということに尽きます。全体として総合的にいい作品が、私のみどころ、結果として総合的な提案が選ばれているのですけれども、実は皆さまがお使いになるのは、総合的にいいものをたくさんやるのではなくて、その中の「活かせるな」と思うところを使っていくわけですね。そういう意味ではアイデアがもっとも重要です。ただ、部分的に極めて優れたアイデアなんだけれども全体として総合的な提案が弱いという作品が、実は早い段階でだいぶ落とされました。しかしその中に、宝石の原石みたいなものがたくさん散りばめられていますので、そういうものにも今後ともぜひ目を配っていただきたいと思います。特に私を感じましたのは、1次産業とか、あるいは地域のお住まいの方のビジネスチャンスはどう作るかとか、そういう提案がだいぶ早い段階で落ちたかなと思うんですけど、それらも含めて皆さんは今大きな宝を手にしたわけですね。それをうまくお使いになるかどうか、これからの宮島口の皆さんのお子さんやお孫さんに宮島口をバトンタッチする上でとても大事なことだと思えます。

提案していただいた皆さまの、経験と努力の結晶ですので、疎かにせず、ぜひともうまく使っていただきた

いと思います。

本保委員

この国際コンペというものに初めて参加いたしました。大変良い経験になったなと思っております。と同時に二度と引き受けないと決心しております。その理由は、大変優れた作品がたくさん提出されて、そこから絞り込んでいくのが、大変難しかったと、この経験につきます。

特に最後まで残った作品についてはレベルが高いものが揃っていて、審査委員長が最初にお話になったように、絞り込みに審査会でも本当に苦勞したところでございます。それだけ価値のあるものが揃っていて、中でも最後まで残った3作品は高い評価を得たところでございます。

しかし、今、堀委員もおっしゃったように完成品ではございません。もっとはっきり言えば、完成品からは程遠いと思っております。素晴らしいアイデア、あるいは方向性を示唆してくれているという点において大きな価値がありますが、これから完成品を作っていくのは皆さんでございますので、ここに示されているアイデアを中心に、それ以外のすばらしく光っているものも含めて、最も地域に合う形で、そしてみなさまの将来にプラスになる形で、ぜひ良い完成品を作っていただきたいと思えます。

優秀賞

登録番号 3330 (作品番号 016)

宮島口【和の美、見立てと縮景】のまちづくり

提案者

上門 周二

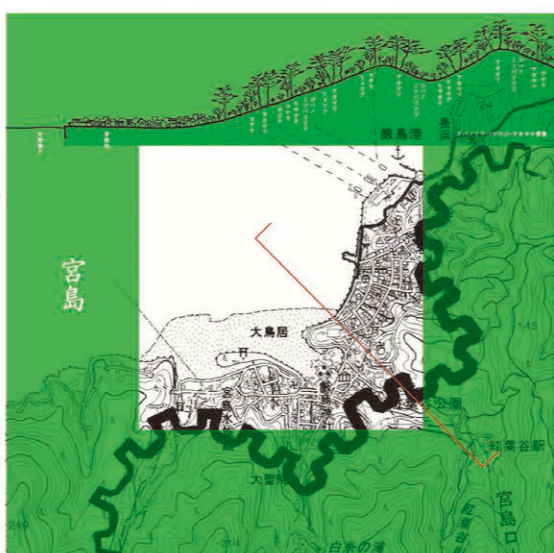
鈴木 晋太郎、島田 昭仁、西 和彦、与儀 詠子

優秀賞の講評

- 新たに整備する施設を「和」のデザインに統一するなど、宮島との風景・景観のつながりを強く意識した作品である。
- シンプルで、すっきりしており、賑わいの提案もコンパクトで、歴史的なものも感じられる。

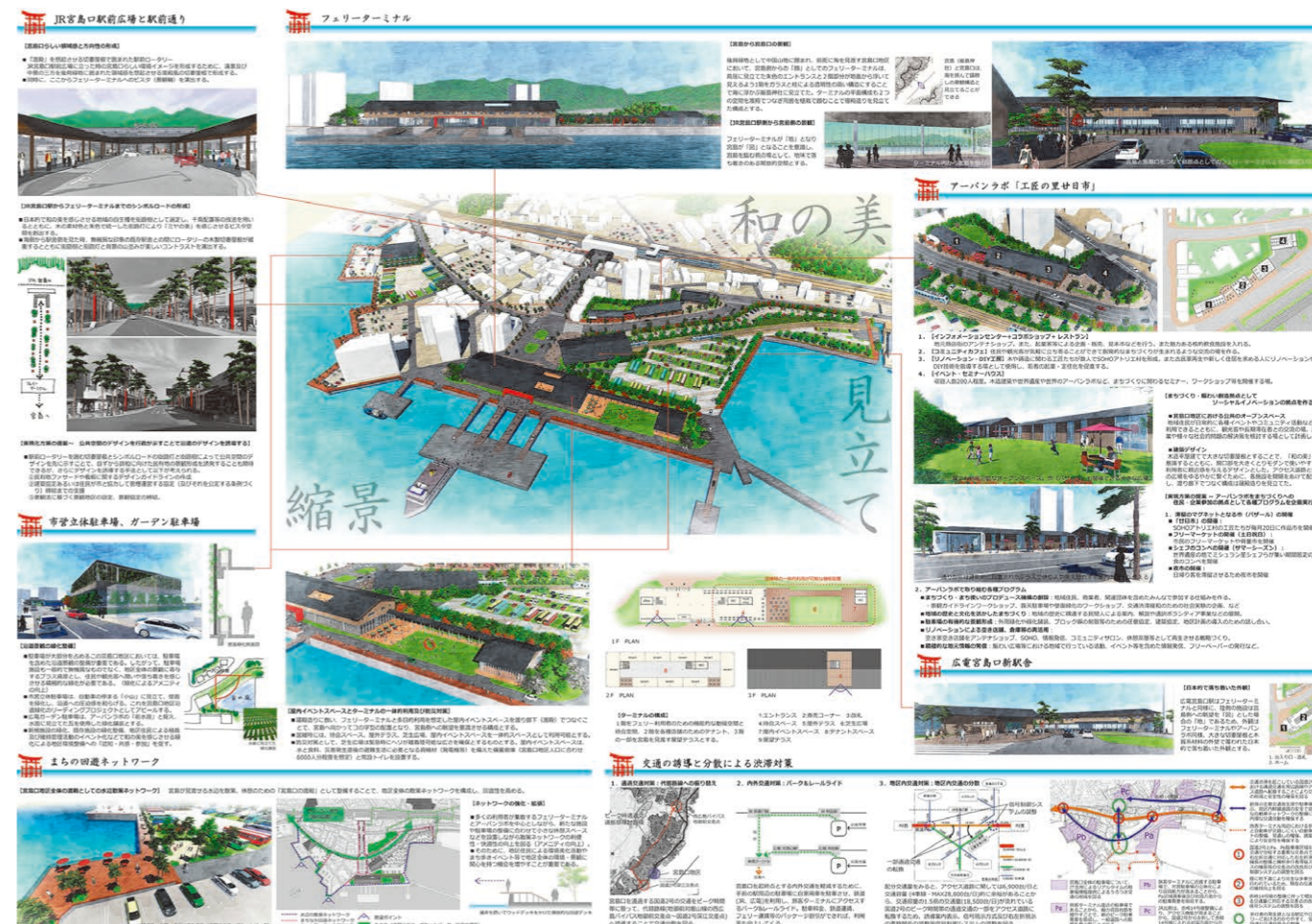


宮島口
【和の美、見立てと縮景】のまちづくり



プレゼンテーションの要旨

- 広島宮島口も背後左右に山、前面に海という「蔵風得水」の地形構造を持っており、入れ子構造になっている。蔵風得水は古代都市国家の地形の「見立て」の構造であり、これを区域全体、街区、施設のそれぞれのレベルの計画イメージとした。
- 駅前通りを地区のメインストリートとし、沿道住民と一体となってまちづくりをする。
- フェリーターミナルは厳島神社と鏡写しとし、宮島への視界が開けたものとする。広電駅舎はフェリーターミナルと統一したデザインとし、まちづくりの拠点となるアーバンラボを設置する。
- 駐車場は景観構成要素とし、広電ガーデン駐車場は緑あふれるものとする。
- 水際は散策路を設け、回遊性を高める。
- 駅前通り、アクセス道路は緑化し、グリーンボウ（緑の弓）と名付ける。
- 渋滞対策はできることからやる。迂回や阿品駅に駐車場を設けパーク＆レールライドなどで対応する。



プレゼンテーションでの Q & A

- Q1 アーバンラボは誰がこれを活用し、まちづくりに取り組むのか。その仕掛けをもう少し具体的に説明してほしい。
A1 まずインフォメーションセンターを設置し、地元のコラボレーションショップ、仮設レストランなどで活用する。ソーシャルインベションの場とする。
- Q2 既存居住地や駅前商店街などは白地で描いてあるが、暮らし、賑わい、アメニティはどうするのか。
A2 施設をつくってそこからまちづくりということではなく、みんなでまちづくりをしよう、考えていこうということで白地にしている。そのためにアーバンラボを提案し、まちづくりの心臓としてイベントを実施することを提案している。
- Q3 緑化計画の具体的なアイデアは。
A3 地域的潜在植生を前提に緑(樹木)を選定し、道路だけではなく、公園や民地も積極的に緑化する。
- Q4 見立てとして縮景というのはよく分かるのですが、個別施設にどう反映されているのか。
A4 個々の施設ではなく地区全体のランドスケープとして、統一的なまちづくりを形成すると考えている。

審査会での各委員の主な意見

- 新たに整備する施設を「和」のデザインに統一するなど、宮島との風景・景観のつながりを強く意識した作品である。
- シンプルで、すっきりしており、賑わいの提案もコンパクトで、歴史的なものも感じられる。
- この作品のアイデアは、「蔵風得水」と「見立て」。これがほんとうに都市をつくる骨格になるのか、なりうるのか、アイデアとしてどうかという疑問はあるが、始めの一歩として進めるには割り切った現実的な案だと思われる。

優秀賞

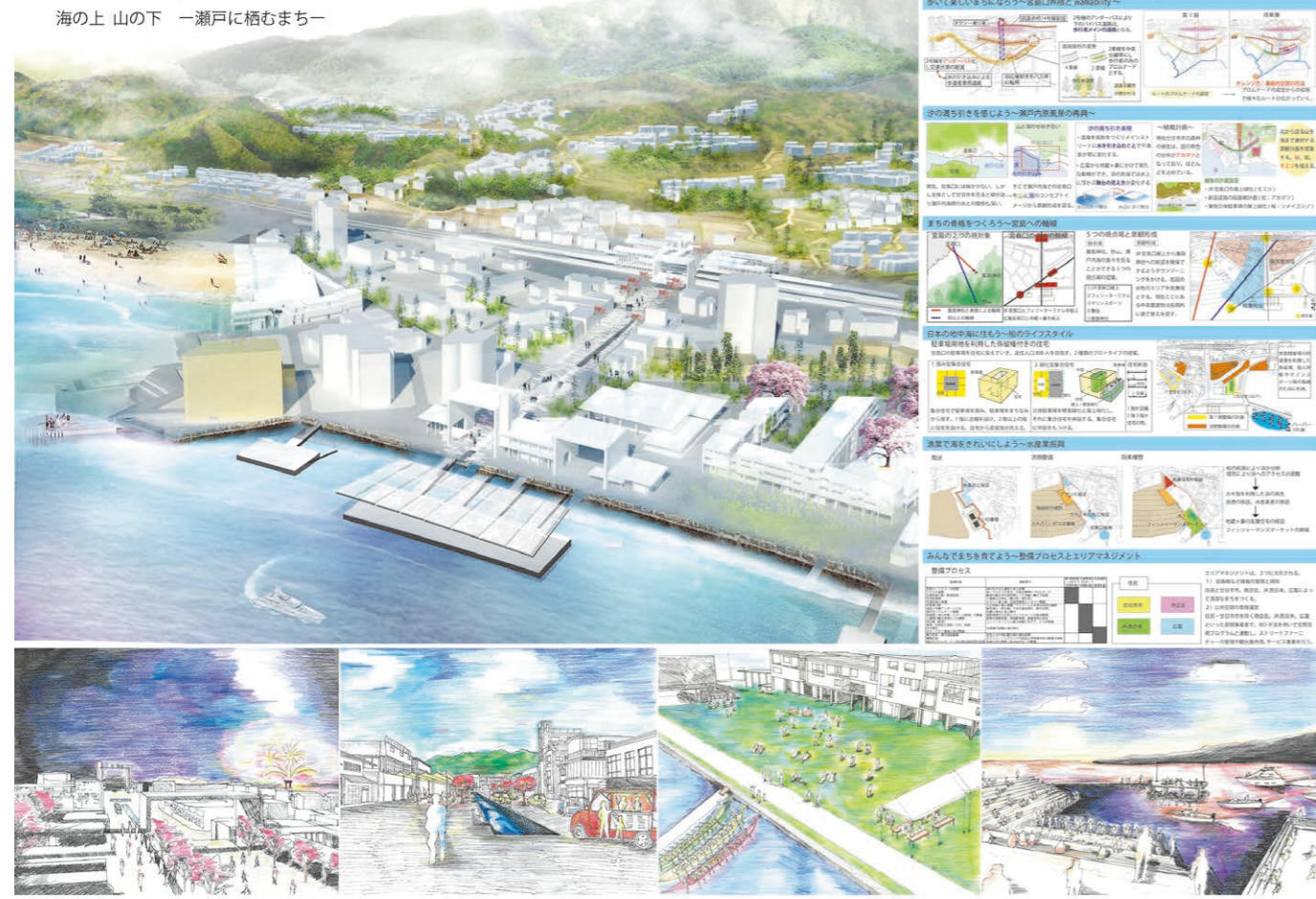
登録番号 3141 (作品番号 094)

海の上 山の下 一瀬戸に栖むまち

提案者

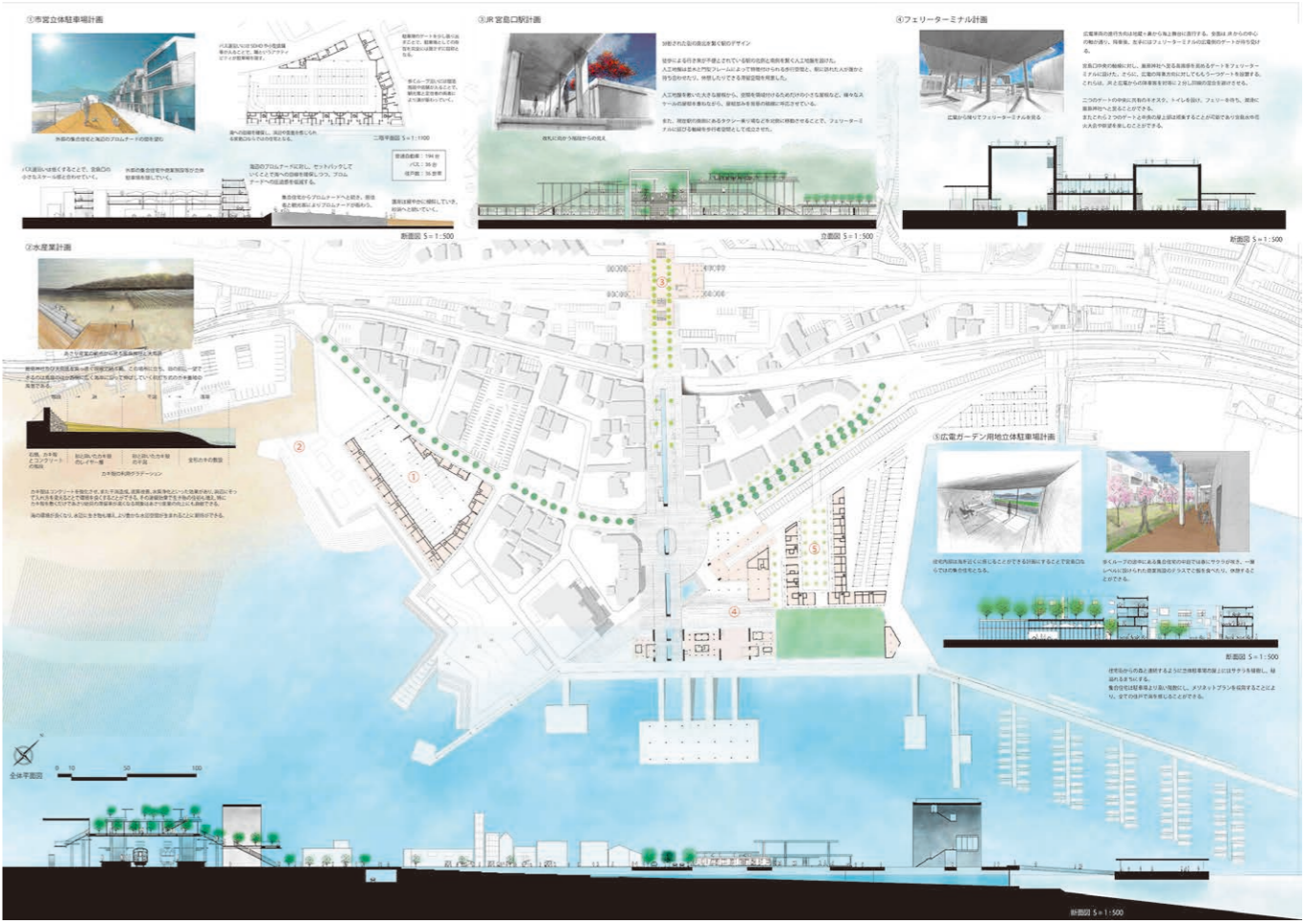
木下 光

松下 和輝、今安 悠人、宮垣 尚仁、奥山 裕貴、WEE YIH CHIAN、片山 湧、郡司 浩和、中田 喜之、村田 裕介、米崎 綾夏、中山 絵理奈、山口 侑香



●宮島への眺望の確保する、駅側と海側との対比感を出している、軸線となる厳島公園線に海水を引き入れるなど、特徴的な提案である。
●水産業振興、競艇場防波堤を活用した係留権付住宅などの地域の活力に配慮したアイデアである。
●交通計画上の課題である国道2号の地下化による改良も有意なアイデアである。

優秀賞の講評



プレゼンテーションの要旨

- この地区の4つの課題を解決する5つの処方箋について。
 - ①歩いて楽しいまちにする→2号線アンダーパス化。
 - ②まちの骨格をつくる→JR駅からフェリーターミナル、広電駅から地蔵ヶ鼻の2つの軸線の設定。海と山をつなぐ。JR駅は橋上駅。広電駅から厳島神社への視界を抜く。視点場を5カ所設定。
 - ③日本の地中海に住む(瀬戸内のライフスタイル)→集合住宅と駐車場をセット化、競艇場防波堤利用の係留権付き住宅、水辺のマリンスポーツ施設など。
 - ④漁業で海をきれいにする→遠浅の海をつくり漁業で海をきれいにする。展望台やマーケットを設置。
 - ⑤潮の満ち引きを感じる(人工水路の設置)→県道に沿った潮入りの人工水路で、宮島同様に潮の満ち干を体感できるようにする。
- これらの処方箋だけでなく、それらを活用したプログラムを提案し、まちづくりを進める。

プレゼンテーションでのQ & A

- Q1 人工水路は干潮時は水ではなく護岸を見ることになる。海水をまちの魅力にしていく具体的アイデアはあるか。
A1 人工水路は傾斜をつけ、水門でコントロールすることで対応する。また、人工水路だけではなく、水産業や水辺のオープンスペースでの親水性や海を生かした集合住宅などで海を日常生活に取り入れ、その魅力をアピールする。
- Q2 水産業振興についての考え方を説明して欲しい。
A2 この地区を人が住む地区にするための係留権付き住宅などの提案に合わせて、水産業も育て、水の浄化とつなげていく。
- Q3 フェリーターミナルの具体的なデザインは。
A3 具体的なデザインより、屋上庭園による緑化やそこからの眺望、景観形成をメインに考えている。また地域の素材を使い風景を整える考え方も考えている。
- Q4 広電の駐車場の入り口はどこか。
A4 競艇場の隣地との間のところ。

審査会での各委員の主な意見

- 宮島への眺望の確保する、駅側と海側との対比感を出している、軸線となる厳島公園線に海水を引き入れるなど、特徴的な提案である。ただし、わざわざ宮島口地区に5mの人工水路の水を引く必要があるのか疑問はある。
- 水産業振興、競艇場防波堤を活用した係留権付住宅などの地域の活力に配慮したアイデアであり、また、交通計画上の課題である国道2号の地下化による改良も有意なアイデアである。
- 人工水路の必要性に疑問はあるが、提案のストラクチャーとコンセプトは非常にしっかりしている。

優秀賞

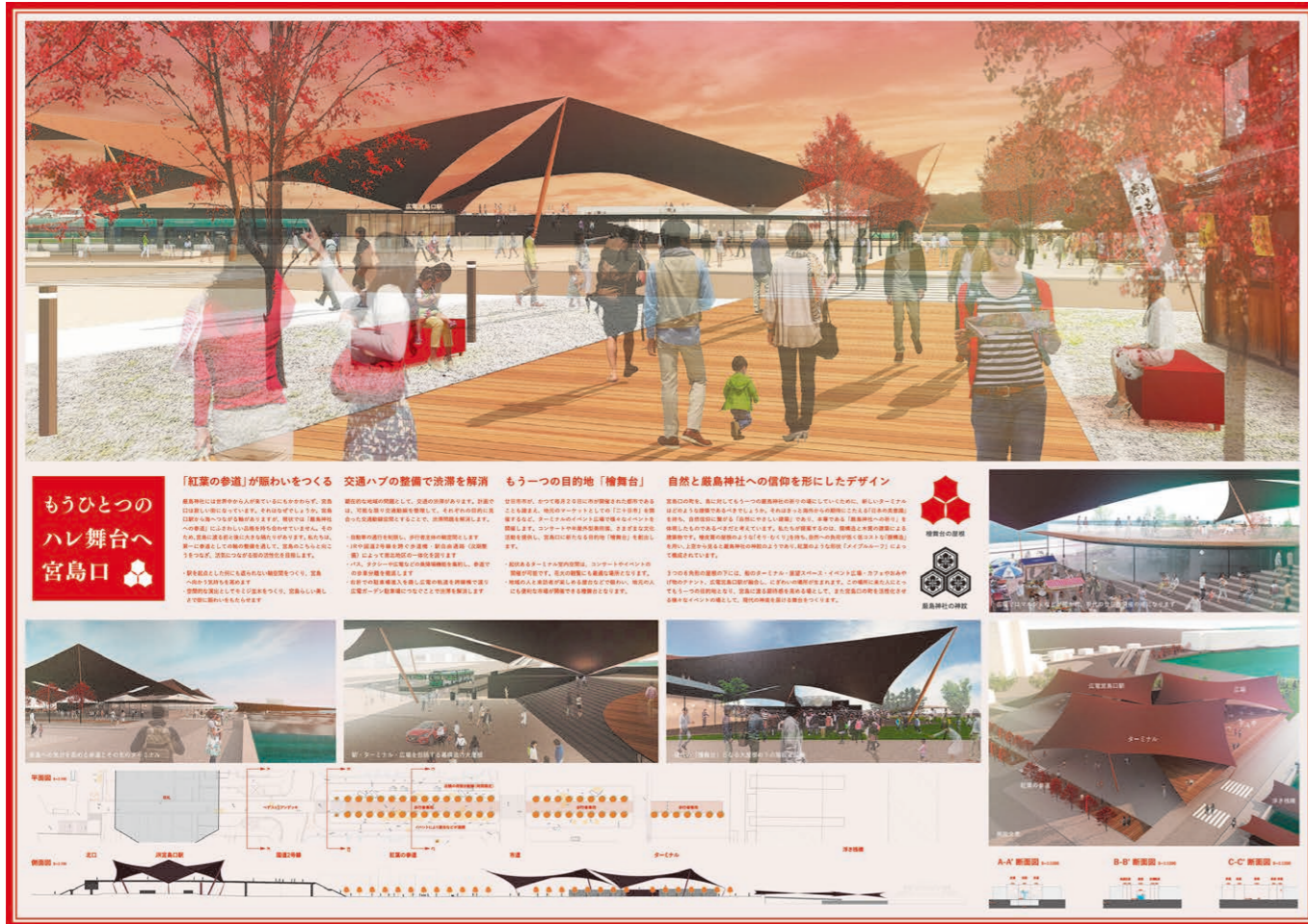
登録番号 3587 (作品番号 182)

もうひとつのハレ舞台へ 宮島口

提案者

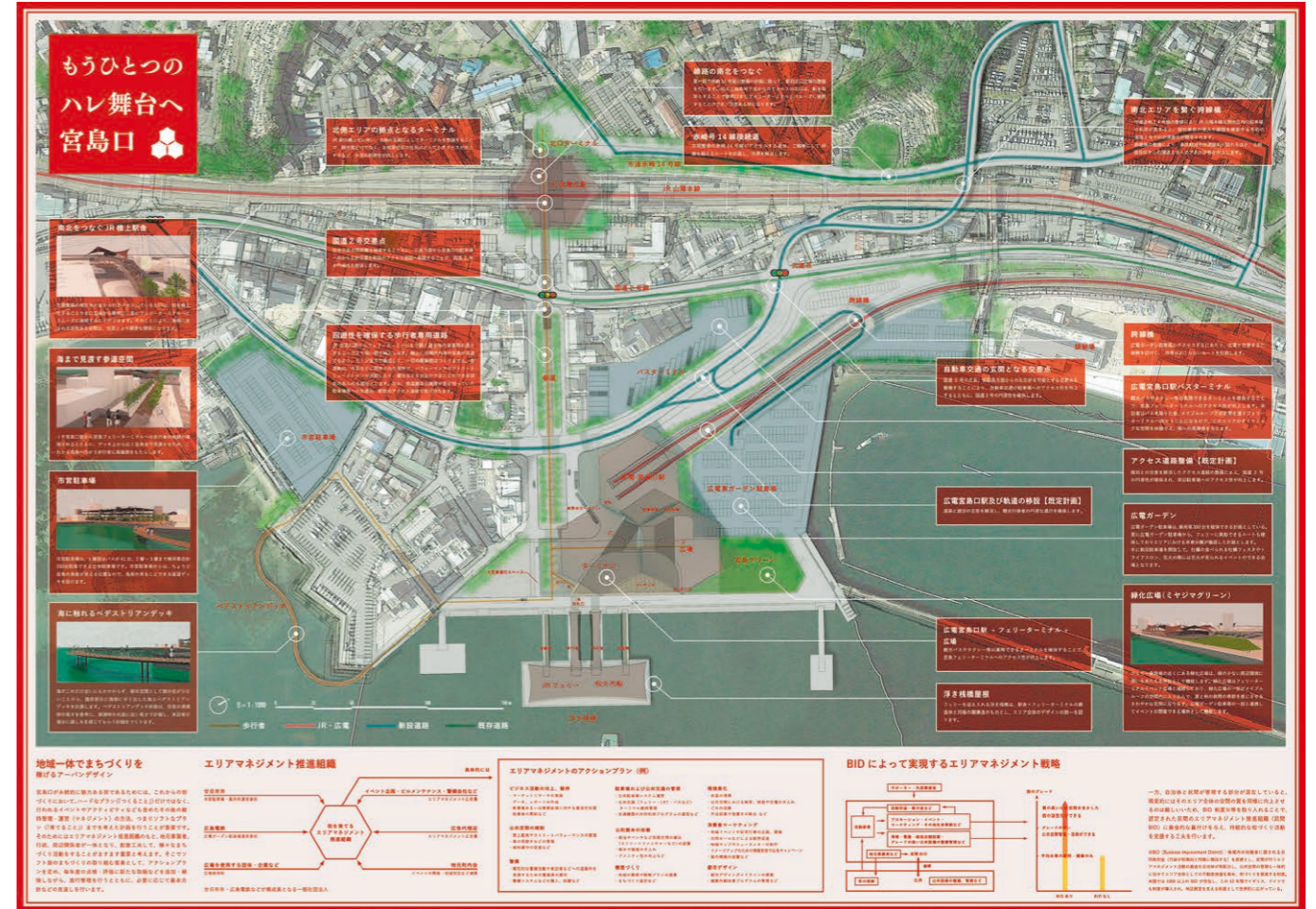
岸 尚志

太刀川 英輔



優秀賞の講評

- 大屋根というコンセプトを使って旅客ターミナルと広電の駅を連動させているアイデアである。
- 国道2号を越えるデッキや、広電駐車場への跨線橋の提案など、交通の円滑化や歩行者の安全性も考慮している。



プレゼンテーションの要旨

- 宮島口が通過点ではなく、宮島口が目的地になるようなまちづくりを進める。また地元の人が散歩するようなまちにしたい。
- 駅を降りれば海の風景が広がり、緑豊かな参道があり、賑わいのある参道（大通り）を実現したい。また守る岸エリアを整備してこのまちをブランド化する。
- まちの都市動線、交通動線を見直し、通過交通と目的交通を整理することで円滑な交通対策とする。ターミナルはコンパクトにまとめ、スムーズな乗り換えを図る。
- 参道にはテント幕構造の環境負荷が低コストの低い建築構造物を設定する。この構造物は厳島神社のデザインコードを援用する。テントの下ではアートやマーケットで賑わいを生み出す。
- まちづくりでは BID の特区制度を使う。

プレゼンテーションでの Q & A

- Q1 テント幕構造物は風雨に耐えるか。 A1 耐え得る提案をする自信がある。
- Q2 テント幕構造は大きすぎないか。なぜこの色か。 A2 検討を重ねてこのサイズとしたがもう少し小さくすることは可能。色は日本の檜皮葺などにテクスチャーを合わせて、一般的なテントの白ではなく、こういった色を選んでいる。
- Q3 BID の具体的なアイデアは。地域でほんとうに稼げるか。 A3 長期的なまちづくりには財源確保が必要なので BID を提案した。地域のブランドで様々な事業が展開されるような仕組み作りを考えたい。ハードルが高いことは認識している。
- Q4 広電駐車場に入るループ状の跨線橋はどうしてこうなったのか。またイン・アウトはどうするか。 A4 踏切を避けるために立体化した。形状は勾配計算を行った決めた。渋滞の原因にもなる右折は避けるようにしている。

審査会での各委員の主な意見

- 大屋根というコンセプトを使って旅客ターミナルと広電の駅を連動させているアイデアである。
- 国道2号を越えるデッキや、広電駐車場への跨線橋の提案など、交通の円滑化や歩行者の安全性も考慮している。
- 大屋根設置の実現性など、いろいろな意味で課題はあるが、まちづくりの議論を投げかけるにはいい提案かもしれない。

佳作

提案者

登録番号 3860 (作品番号 107)
宮島雁木町

三分一 博志



プレゼンテーションの要旨

- 瀬戸内海の人と人、人と自然をつなぐ雁木をコンセプトとするまちづくりを提案する。
- 橋や塀、門など人と自然をつなぐ場所に庇のような雁木や階段状の雁木などを設置。雁木はヒノキ等の自元木材を用いる。また雁木は既存の建物を生かしたまちづくりができる。
- 広電側に立体駐車場を設置し、アクセス道路と一体化することで歩車分離を図り、海側に人優先、緑優先のまちをつくる。
- まちを廿日市エリア、参道エリア、海鮮エリアで構成。広電側には舞台、ホール、横丁などを設置し賑わいを創出。ターミナルはビジターセンター機能を持ち、廿日市周辺地域の情報も提供。横には潮の舞台を設置して、けん玉大会などのイベントを実施する。
- 地区の中央には広場を整備しレストランや物産市、スポーツイベント、カキ打ち体験などにも活用。宮島との軸線上には鳥居橋を設置し花火大会の名所とする。



プレゼンテーションでの Q & A

- | | | | |
|---|--|--|--|
| <p>Q1 巨大な立体駐車場1つの整備で交通問題は解決されるのか。</p> <p>A1 2階建ての屋上を利用した3層構造の立体駐車場を道路と一体的に作ることで歩車分離が進む。それがこのまちでは重要。</p> | <p>Q2 既存市街地をどうするかについては何も提案はないのか。</p> <p>A2 民地の再編は難しいので、既存市街地は最小限の改造で済む提案とした。既存の建物を雁木で修景する。</p> | <p>Q3 緑のプランは貧困ではないか。描いてあるのはマツか。マツは難しい時間がかかる。</p> <p>A3 確かにマツは難しい。平置き駐車場の緑化、広場の緑化などで緑化を進める。</p> | <p>Q4 ターミナルの具体的な案はあるか。</p> <p>A4 閑散期と繁忙期の観光客の差が大きいため、ターミナルは平屋建て等の低層のターミナルが望ましい。全体に大きな屋根をかけ、現代的な部分とヒューマンスケール部分を併せ持つようにする。</p> |
|---|--|--|--|

審査会での各委員の主な意見

- 図面ではテーマパークのような感じだが、できるだけ現状維持の中で雁木を用いて統一感を持たせるといったアイデアは実現性という面からは面白い。
- 実際にこうしたまちはほとんど見受けられず、簡単に実現できないと思われるが、人と車を分離するという強い思いは感じた。
- (この提案だけではないが) 提案として、住んでいる人のことがほとんど出てこない。

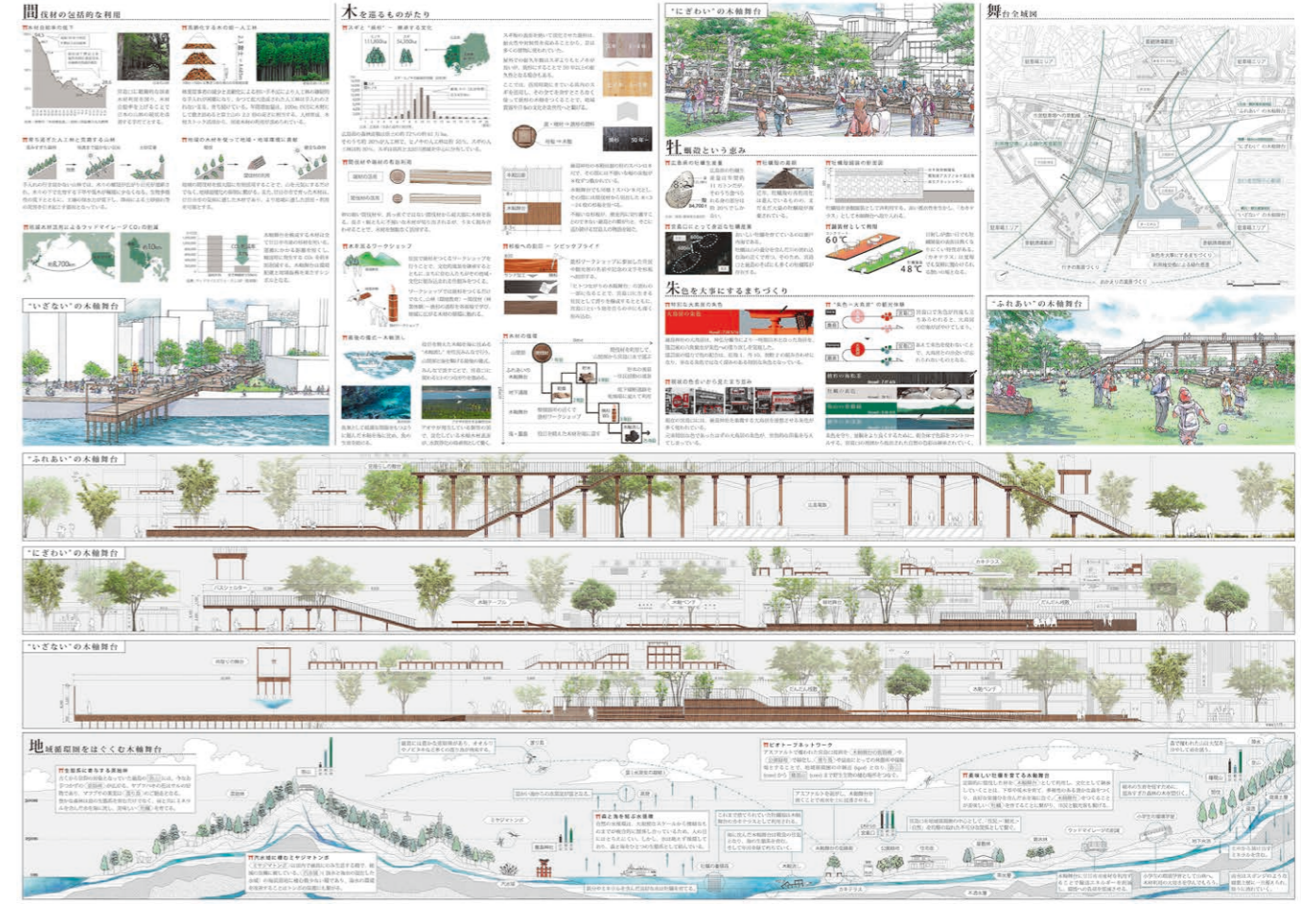
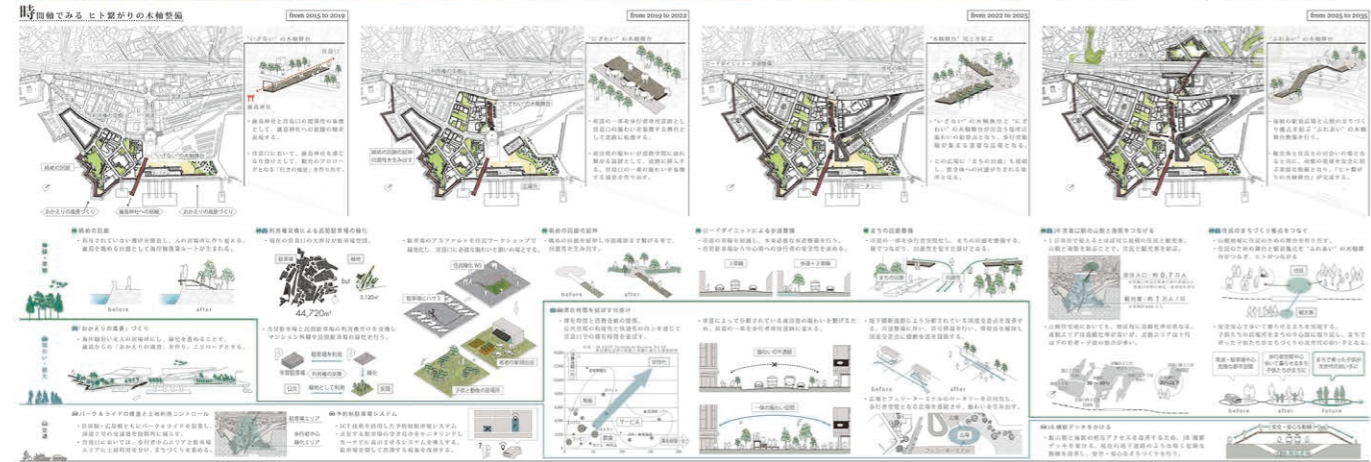
佳作

提案者

登録番号 3829 (作品番号 142)
ヒト繋がりの木軸舞台

大藪 善久

松井 一哲、高橋 舞、小林 綾、和田 浩平太、米山 宏美



プレゼンテーションの要旨

- まちでの交流を促進するために「いざない」「にぎわい」「ふれあい」の3種類の木軸舞台を提案。まちづくりの段階ごとに木軸舞台を順に作っていく。
- フェリーターミナル完成時に「いざないの木軸舞台」が宮島口のまちづくりの核となる。杉の間伐材利用で森林を再生する。焼杉づくりと住民参加のワークショップを行うことで、地域や文化に組み込まれるきっかけを作る。
- 次は広電駅移設やアクセス道路完成時に「にぎわいの木軸舞台」を整備する。県道の一部を歩行者専用道路化し、商店街に賑わいを創出。民間駐車場の利用権を担保した権利変換で駐車場を統合。色彩の提案として宮島口では朱色は用いず「朱色を大切にするまち」とし、景観形成。
- 第2期は後背地とつなぐ「ふれあいの木軸舞台」。住民と観光客が交流できるようにする。

プレゼンテーションでの Q & A

- Q1 海に突き出た「いざないの木軸舞台」は公共的な維持管理が難しいのではないかと？ 柵が無いが安全性は。
- Q2 JRをまたぐ「ふれあいの木軸舞台」は木材の巨大構造物だと構造的に大丈夫か。
- Q3 デッキのバリアフリーは。
- Q4 なぜ3種類(も)の木軸舞台を提案したのか。
- A1 ソフト的には一度に人が集中しないように管理運営し、ハード的には柵を設ける。
- A2 適材適所で床、根太・大引、柱で用いる材を変える。重要な部分はLVLや鉄骨もあり得る。
- A3 スロープ等で対応している。
- A4 段階的整備が必要なことと、地域を構成する3地区の特性の違いにより必要とする機能が異なるため。この地区では一つの巨大な施設が必要なわけではない。

審査会での各委員の主な意見

- 「ふれあい舞台」ともかく、「いざない舞台」というところはきめ細かくやれば、可能性としてはとてもいい。
- 宮島への眺望が阻害されている現状に対しての積極的な提案や、また、地元の木材活用という提案を踏まえると、部分的な修正は必要だが、意味がある提案と思われる。
- 「いざない舞台」が最も重要だが、やはり柵が必要とされたので、この場合、この提案の評価は下がると思われる。また、橋脚は提案のように細くならないと思われ、まちづくりの進行を妨げる可能性がある。

佳作

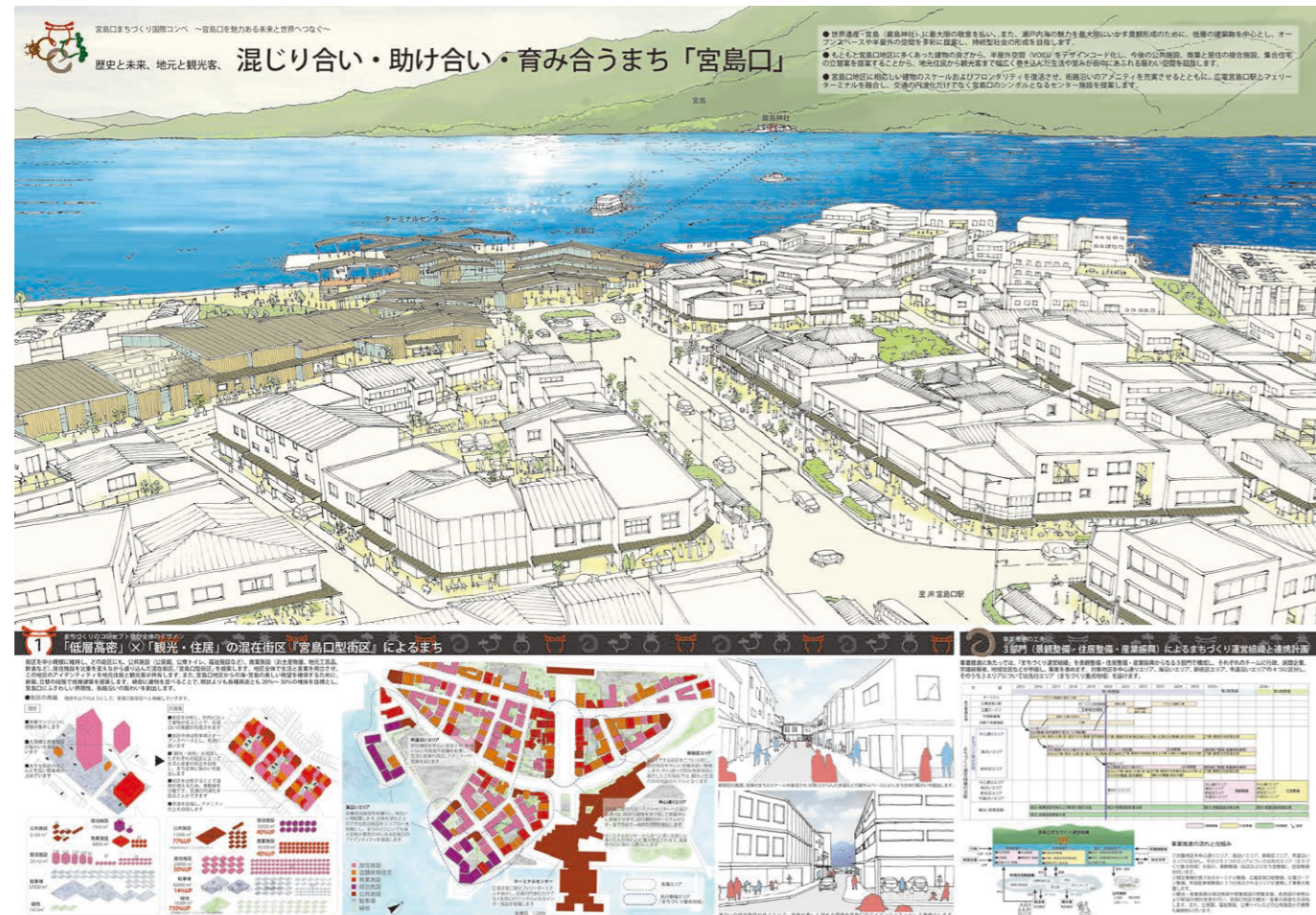
提案者

寺内 美紀子

松原 昂平、大村 公亮、福嶋 史奈、出田 麻子、上田 彬央、市川 楓

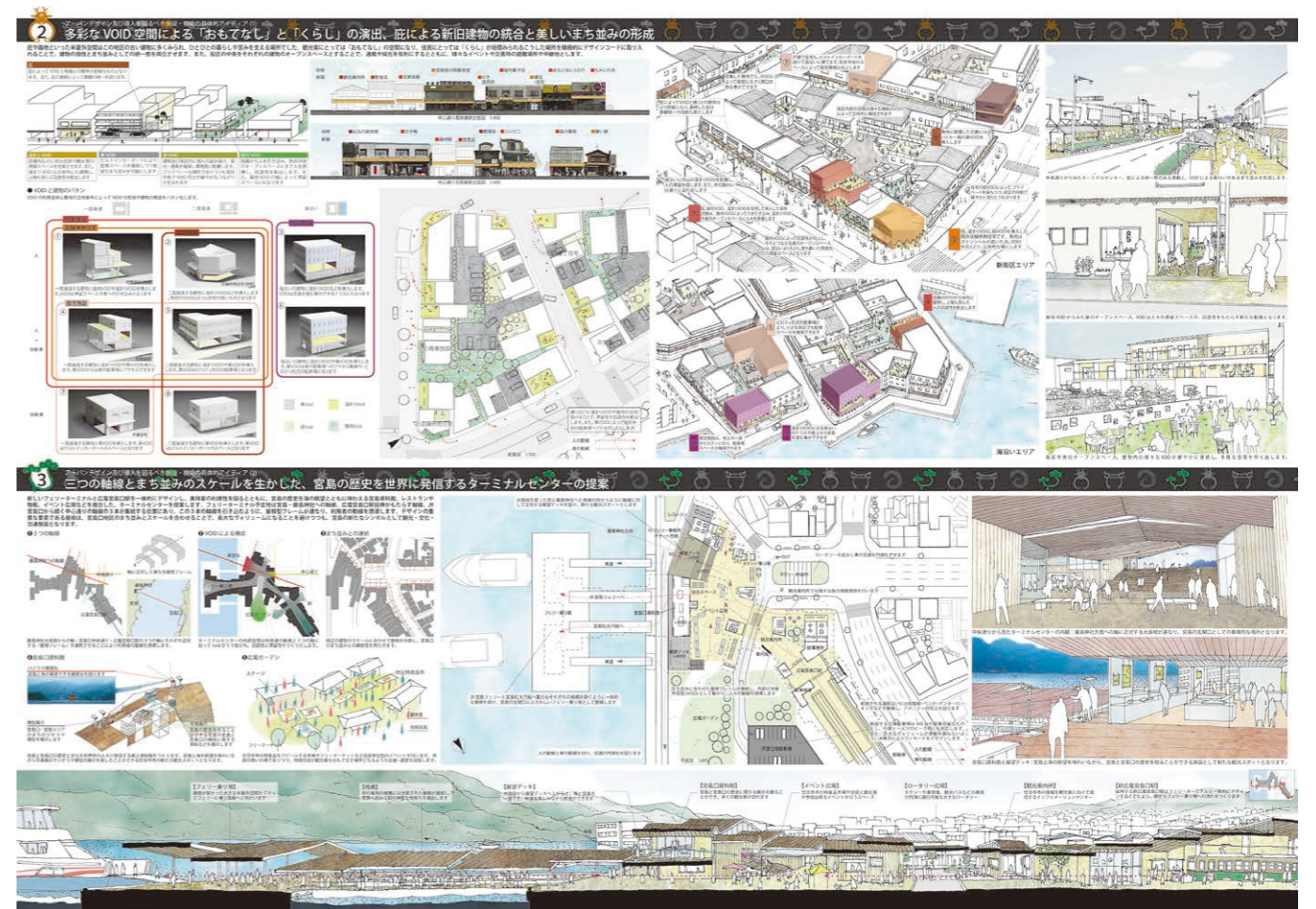
登録番号 3729 (作品番号 153)

歴史と未来、地元と観光客、混じり合い・助け合い・育み合うまち「宮島口」



プレゼンテーションの要旨

- 「低層高密度」かつ「観光・住居」の混在街区によるまちづくり。これで街区を再編し、ボイド空間をつくりだす。そのボイド空間を利用してオープンスペースや公共施設、商業施設などを導入し、まちを活性化させる。
- またボイド空間の創出でもてなしや暮らしの演出が可能となる。新旧建物の統合、美しい街並み形成を図る。
- フェリーターミナルと広電新駅は屋根フレームを連続させ一体的に整備し、回遊性、滞留性を高める。
- 一体化したターミナルセンターには展望デッキ、宮島資料館、レストラン、ショップなど宮島の玄関口機能を強化。
- まちづくり運営組織でタウンマネジメントを実施。



プレゼンテーションでの Q & A

- | | | | |
|-------------------------|------------------|--|---|
| Q1 交通問題の提案がないが何か考えはあるか。 | Q2 広電立体駐車場の出入りは。 | Q3 実際の街区形成のメカニズムや、その推進力は何を想定しているのか。何か強制力があるのではないかと。現実性に乏しくないか。 | Q4 ターミナルの計画がよくわからない。 |
| A1 駐車場面積を14%以上増やす。 | A2 ほぼ現状と同じ。 | A3 景観・住居・観光振興の3部門のタウンマネジメント組織で、連携しながら進める。 | A4 既存の屋根並やそのスケール感を大切に、連続的につながった、海の眺望を確保した設定にしている。 |

審査会での各委員の主な意見

- 観光客と地域住民、居住者との融合を図ろうとするアイデアで、この地区のまちづくりにとって、重要な視点とアイデアを提案している。
- アレクザンダーの「パターン・ランゲージ」を連想させるが、このまちづくりは時間がかかる可能性がある。
- どこでも当てはまるアイデアで、あえて宮島口でということにはならないのではないか。また、交通計画についても具体的な提案がない。

佳作

提案者

登録番号 3412 (作品番号 155)

しま うみ はじめ

～島と海との関係が緑を介し蘇る、新たなはじまりの地へ～

藤原 敏雄

荒川 洋文、蕪木 伸一、松尾 浩樹、猪里 孝司、川崎 泰之、石田 武、半澤 武夫、平賀 順也、藤沢 亜子、渡邊 哲也、望月 健太、野口 鮎子、小松 香衣、横石 めぐみ、島村 義隆、梶山 剛、矢田貝 大輔、俣野 実



Summary of the proposal including sections like '宮島口再生の考え方' (Concept of Miyajima-uchi Regeneration), '立体参道' (Vertical Approach), '緑苑水辺ゾーン' (Green Garden Waterfront Zone), '横丁にぎわいゾーン' (Crossing Vibrancy Zone), and '宮島への玄関口ゾーン' (Gateway to Miyajima Zone).

プレゼンテーションの要旨

- 宮島、瀬戸内海の地理的、歴史的関係性をこのまちに甦らせ、まちの中心性を回復する。
●グリーンストラクチャーで歴史的な景観構造を再生する。また宮島と宮島口の一体性を強調するシンボルストラクチャーの2つの骨格でまちづくりを進める。
●横丁にぎわいゾーン・緑苑水辺ゾーン・宮島への玄関口ゾーンの3つを貫く超強度コンクリートの「立体参道」を設置。沿岸部には大きなグリーンゾーン、JR沿いにグリーンベルトを形成し、混雑時は駐車場空間とする。
●海辺には賑わいの海テラスを整備し、フィッシャーマンズワーフを設置。ターミナルは緑を取り込み宮島に開けた軽快な建物。広電ガーデン駐車場の屋上は緑化し競艇場のイベントの観覧席化。既成市街地は地元産木材で木造建築化を促進。交換分合で駐車場を集約し交通渋滞を緩和。参加型まちづくりでまちをブランド化。
●TMOを立ち上げ、TID制度を導入し資金を確保しつつまちづくりを進める。

Detailed presentation including '20年後(2035年頃)のイメージ' (2025 Vision), '4つの戦略により生まれ変わる宮島口' (Miyajima-uchi Reborn by 4 Strategies), and '参加型まちづくりによるソフトブランディング' (Soft Branding through Participatory Urban Planning).

プレゼンテーションでの Q & A

- Q1 立体参道はかなり高く、周辺の建物との関係がうまくいかないのではないかと。
A1 確かに5メートルくらいの高さになるが、まちのシンボルにもなり、人が上がったたり下りたりしてそれが活性化につながる。立体参道が左右の店に立ち寄るための中継点になる。
Q2 塩害を考慮すると海沿いの緑化は難しいのではないかと。樹種は。
A2 塩に強いマツやナナミノキ、クロガネモチなど。古地図から読み取った生態系を参考に。
Q3 ターミナルのイメージがよくわからない。
A3 緑を中心に考え、軽やかな薄い屋根、細い柱、開放的なものを想定している。屋根は多孔質にし、雨が降ってもいいかな、と思っている。

審査会での各委員の主な意見

- 立体参道が特徴的で、全体的にバランスも良い。
●ただし、立体参道は商店街との繋がりが切れてしまう可能性があり、実現が難しいと思われる。また、相当なコストも必要と思われる。
●地域には住んでいる人たちがいて、その人たちがどう動くかというところが弱いと思われる。

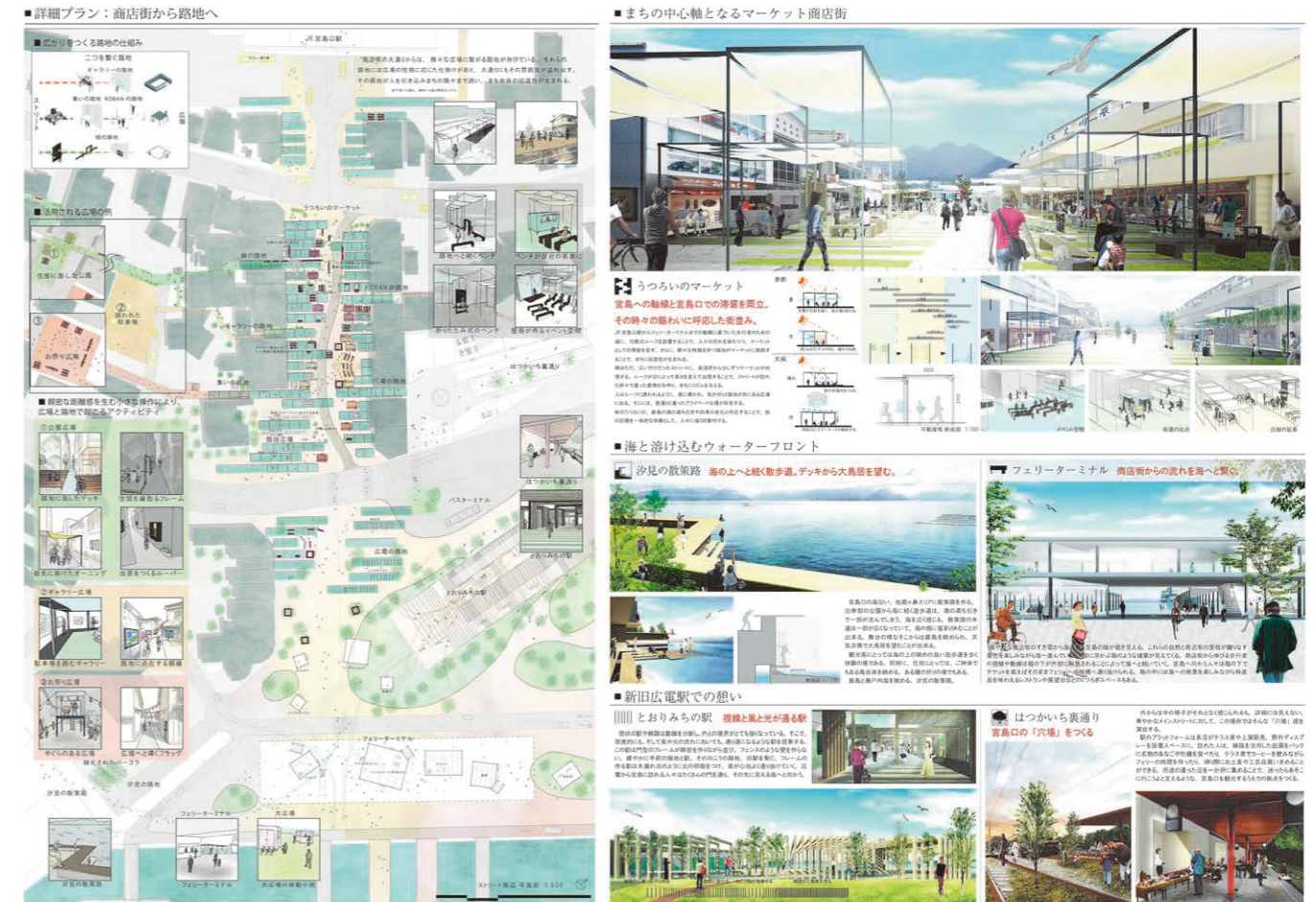
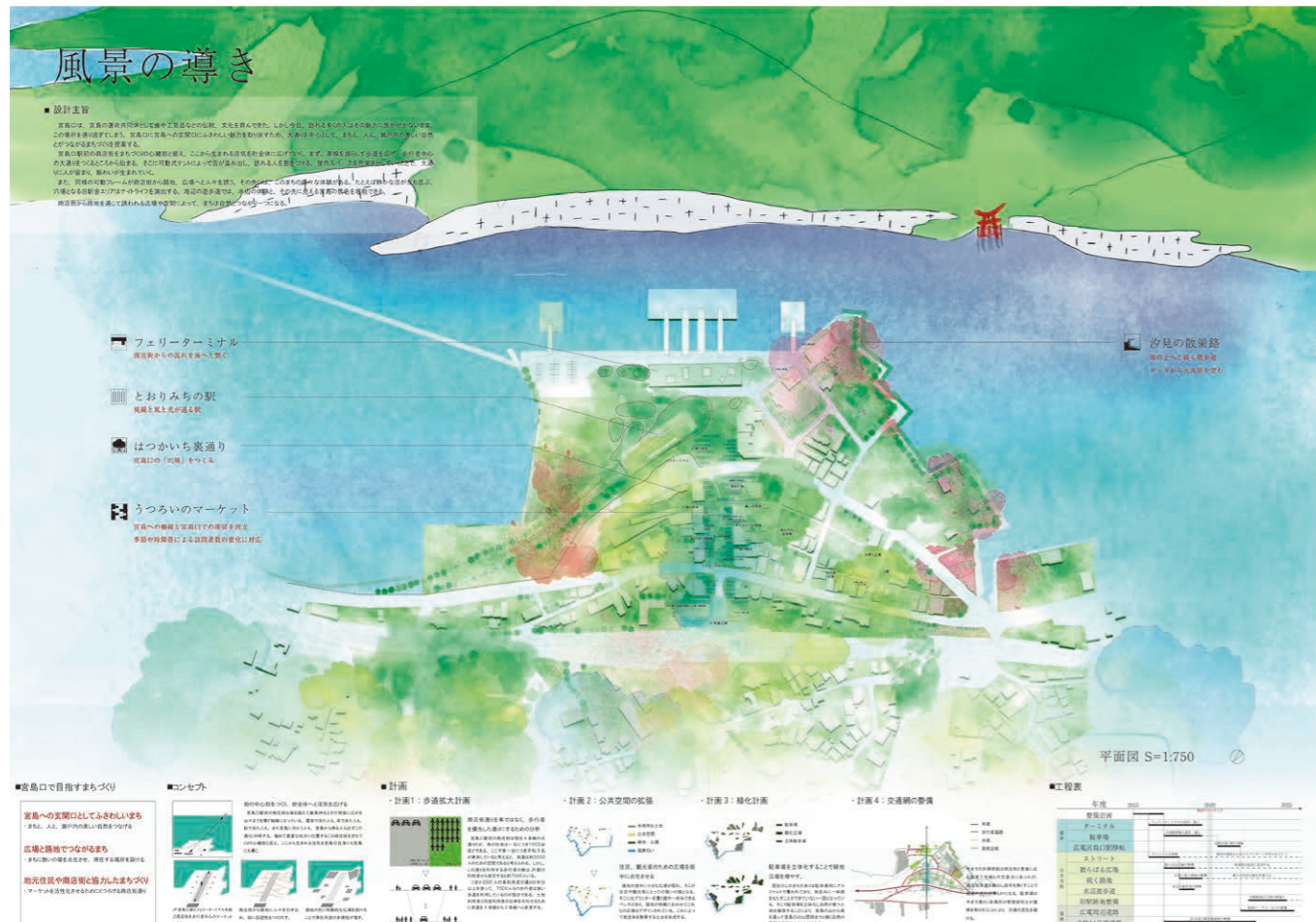
佳作

提案者

登録番号 3768 (作品番号 158)
風景の導き

ラドビッチ ダルコ

宮垣 知武、鈴木 萌、上野 若太郎、Ikalovic Vedrana、佐藤 悠太、
天野 綾人、Czarnobroda Roxane、鳴海 波奈子



プレゼンテーションの要旨

- 我々の提案はコラボレーションと環境を重視し、無理のない開発でここを住みよく愛すべき暮らしやすいまちとすること。
- 大通りを軸とした歩行者中心のまちとし、人々の交流を生み出す。調査では1日の通行量は車が3000台で歩行者は7000人。一方道路の幅員構成は3割が歩道で、7割が車道。このミスマッチを解消することで街に活気をもたらす。
- 歩行者中心のメインストリートを作ることで休憩や買い物、会話などが生まれ滞留が起こる。また周辺の路地へと人は導かれる。通りには屋根をかけ、屋根のつながりで人々を路地に導き回遊性を生むようにする。
- 新広電駅、フェリーターミナルは連続するフレームで構成し、開放的な空間とする。旧広電駅にはレストラン、商店など設置し、地区全体のハブとなるうつろいのマーケットの一部となる。
- 散策路は潮の満ち引きを感じられ、人が海に近づけるような構造とする。

プレゼンテーションでの Q & A

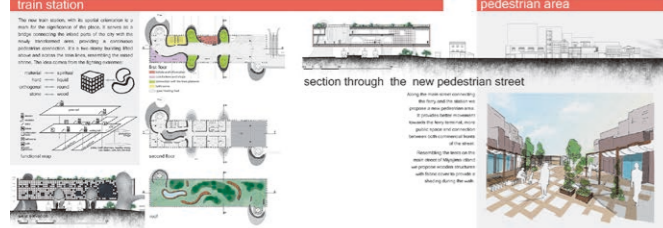
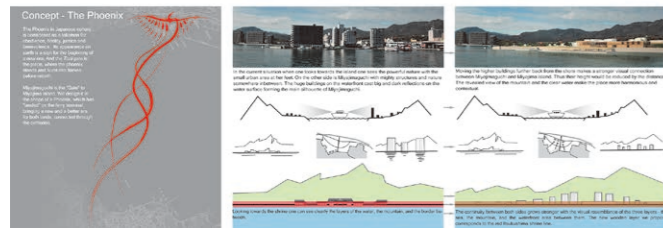
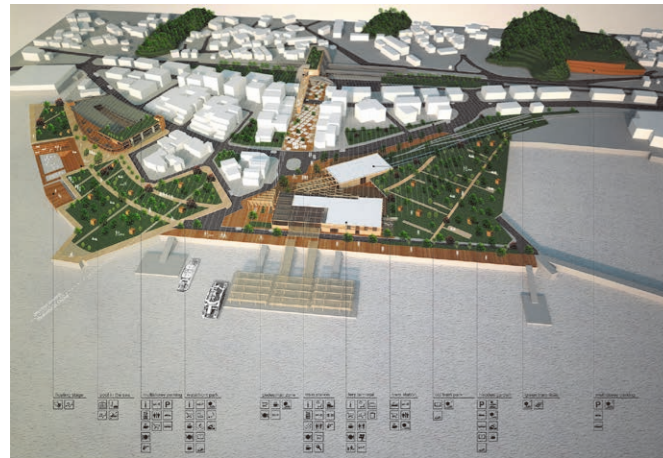
- Q1 歩行者専用の空間を地区の人々がうまく活用できるようになるアイデアはあるか。
- A1 道や空間をつくりこむことで人々がこの地区に興味を惹かれると思う。しかし管理や運営の仕方は住民の方々と協議していくべき今後の課題。
- Q2 野点 (のたて) や緑台、幕のような日本の伝統的な仮設的なシカケを取り入れていないのはなぜか。この提案は世界のどこにでも当てはまるものではないか。果たしてそれが宮島口にふさわしい提案なのか。
- A2 決まったデザインを提示しているのではなく、まちづくりの戦略を提案しています。具体的なことは次のステップで検討するものとした。
- Q3 なぜ中心軸のところとフェリーターミナルの間に車の大きな動線を入れているのか。
- A3 車の処理速度を早めることを重点的に考え、2つある駐車場への分岐点を1点とした。また車で海に近づける動線をつくりたかった。

審査会での各委員の主な意見

- 地域の人たちが県道を上手く使うことを前提として、色々賑わいを創るというアイデアであり、そういう観点は重要である。
- この提案の内容は戦略だとしても、その戦略が全世界的で、どこでもできる提案と思われる。
- 交通計画についての具体的な提案が無く、ジャスト・アイデアの提案である。

特別賞

登録番号 7005 (作品番号 230)
植える 繋げる 招く (plant connect engage)



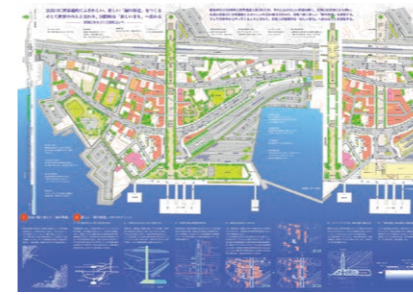
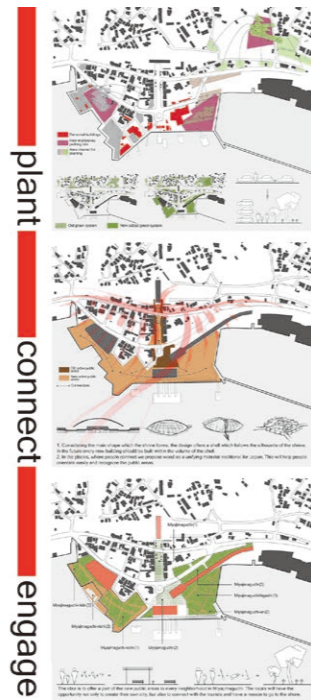
提案者

Milena Metalkova-Markova Ilieva

Hristo Petrov Dimitrov, Tsvetina Mitkova Dimitrova, Boyan Svilenov Kostadinov

講評

- 地区の課題を把握した、外国からの応募作品の中では最もレベルが高いものである。
- 再開発的なまちづくりと、厳島神社の朱い鳥居から連想されるフェニックス (不死鳥) を提案のコンセプトとした作品である。



登録番号 3259 (作品番号 001)
宮島口に世界遺産にふさわしい、新しい「緑の参道」をつくる そして世界中の人と交わり、国際的な「新しいまち」へ変わる

提案者

みぞぶち かずま

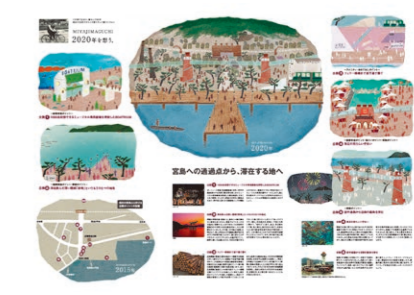
嶋田 裕紀、本橋 亜美



登録番号 3036 (作品番号 003)
瀬戸内のきらりと光る小さな街—新たな門前町・宮島口の近未来を描く

提案者

山本 雅之

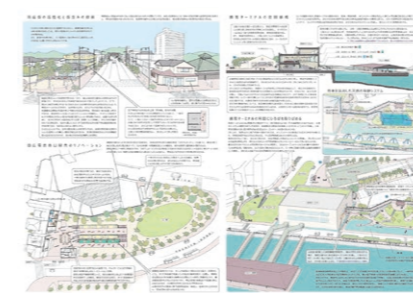
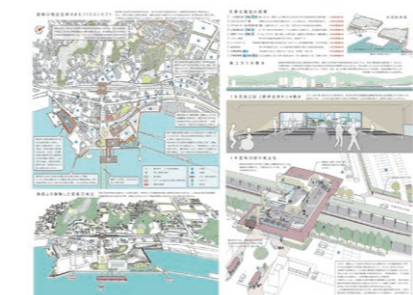


登録番号 3077 (作品番号 013)
宮島への通過点から、滞在する地へ対岸だからこそ味わえる体験・風景・空間・時間

提案者

佐藤 緑

仲子 盛進、弥中 敏和、納島 正弘



登録番号 3596 (作品番号 014)
厳島と宮島口との関係

提案者

川城 茂一



登録番号 3214 (作品番号 018)
ケを彩色する

提案者

井上 恵一

堀 真美



登録番号 3610 (作品番号 025)
宮島口は海の参道
世界遺産にふさわしい参道のしつらえと、おもてなし作法のデザイン

提案者

佐藤 俊郎

岡 大輔

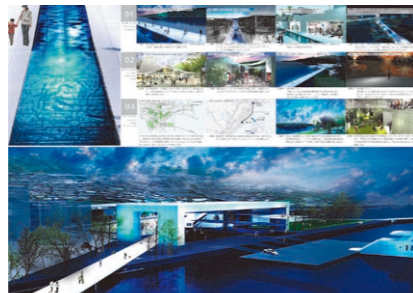
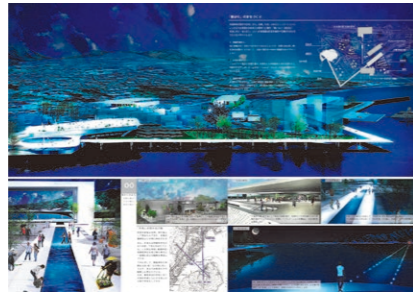


登録番号 3679 (作品番号 031)
風・土・森・海
一宮島口を世界と未来へつなぐ参道ネットワーク

提案者

尾鼻 克之

岸 真人、藤原 由香里、尾鼻 明子

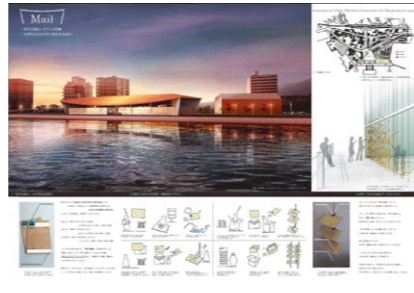


登録番号 3018 (作品番号 035)
「繋がり」のまちづくり

提案者

藤本 和男

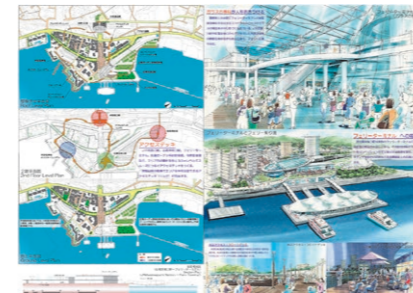
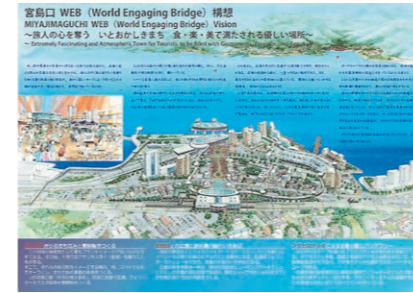
山本 真実



登録番号 3621 (作品番号 064)
Mail
「旅する建材」がつくる風景
～世界中からはがきで参加する都市～

提案者

ホンダ タケシ

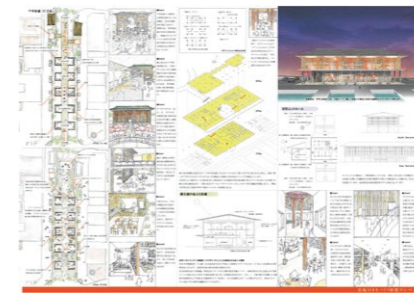


登録番号 3374 (作品番号 083)
宮島口 WEB (World Engaging Bridge) 構想
旅人の心を奪う いとおかしまち
食・楽・美で満たされる優しい場所

提案者

川原 伸朗

青木 秀史、荻野 太一、高橋 勇也



登録番号 3074 (作品番号 099)
**～ 1000 年前の記憶・風景を
1000 年先に伝承する～**

提案者

八納 啓造



登録番号 3011 (作品番号 100)
天と地の風景—宮島口
「つなぐもの」と「つながれるもの」
を「変わるもの」と「変わらないもの」
でつくる魅力的な景観

提案者

宮森 洋一郎

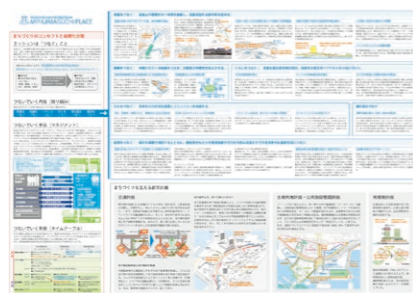


登録番号 3389 (作品番号 066)
M-GATEWAY: 世界をツナグ “宮島口新八景”

提案者

山田 順之

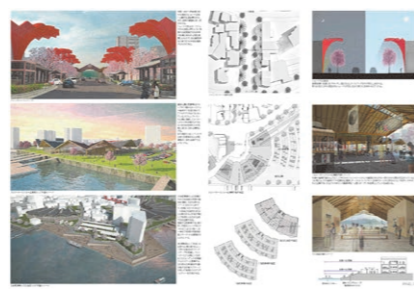
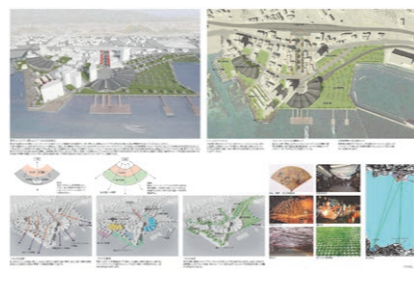
曾根 佑太、野中 朋恵、青木 忠尚、埴原 新奈



登録番号 3695 (作品番号 073)
ヒト・モノ・体験・情報をつなぐ、つながっていく。宮島口プレイスによこそ!

提案者

高田 真

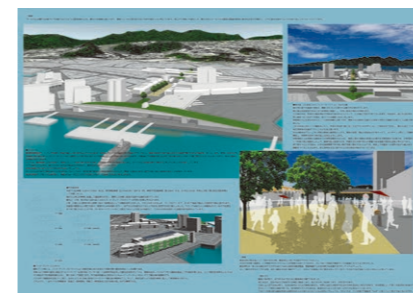
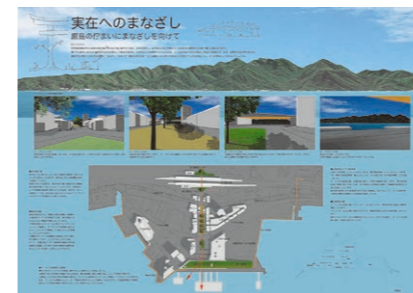


登録番号 3635 (作品番号 077)
扇によってつながる宮島口

提案者

金道 晃

Hiroshi Takeyama, Marie Nihonyanagi, Chikako Kanamoto, Keigo Yoshida



登録番号 3122 (作品番号 103)
実在へのまなざし
厳島の佇まいにまなざしを向けて

提案者

盛岡 隆治

岡田 英治、黒瀬 尚範、西村 正弘



登録番号 3194 (作品番号 112)
Cultural Green Raft

提案者

堀田 典裕

(匿名希望)、朴 光賢、足立 太一

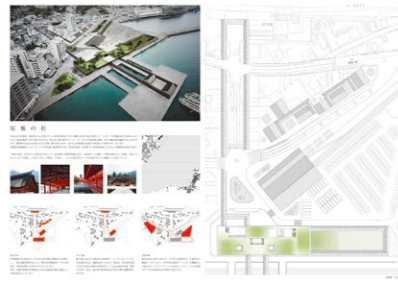


登録番号 3735 (作品番号 115)
風の結節

提案者

横山 真

宮田 真、内田 和音、黒木 香那、前田 凌児、佐々木 優、赤池 美奈、林 遼平、高瀬 孝太郎、渡辺 祥平、椎野 創介、兼重 仁、梅田 翔平、倉橋 一将、田中 暢人、佐藤 史典、西川 文人、田中 貴宏、塚井 誠人



登録番号 3093 (作品番号 116)
屋根の杜

提案者

蛭川 結

森 創太



登録番号 3481 (作品番号 118)
聖の宮島、俗の宮島口

提案者

瀬戸口 剛

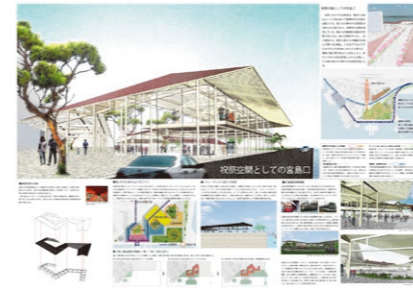
渡部 典大、加持 亮輔、久保山 航希、松山 倫之、岩国 大貴、北原 海、中田 華子、山崎厚、渡邊 天磨



登録番号 3144 (作品番号 122)
屋根でつながるマチの風景

提案者

高橋 賢



登録番号 3878 (作品番号 145)
祝祭空間としての宮島口

提案者

櫻井 義夫

岩田 健一、木村 才人、田中 茉莉、村田 徹、根本 響暉、石塚 亮祐、桑島 直樹、増尾 さと子



登録番号 3746 (作品番号 146)
宮島口 (山側・海側)、宮島が Win-Win-Win の関係となる場をつくること

提案者

中川 沙織

釜本 彩、中峰 宏恵



登録番号 3098 (作品番号 147)
かんきょう 間境 新生 「間」のまち宮島口に都市生態系を育む

提案者

沼野井 諭

本間 百合、中野 卓、茅野 壮志



登録番号 3574 (作品番号 132)
未来へ・世界へ。自立した地域へ。

提案者

柳河 元木

村若 尚、今掛 壽大、梶田 真生、山田 光代、大江 弘康



登録番号 3306 (作品番号 135)
げにおもしろき景色かな 鳥居の見える海の汀に人あふれ…

提案者

桧山 涉

松波 龍一、前岡 智之



登録番号 3720 (作品番号 143)
いつく、いつくしむ、いつくしまぐち。

提案者

中井 祐

尾崎 信、福島 秀哉、浅井 淳平、山崎 明日香、鍵村 香澄、佐井 優裕、裴宇 翔、小粥 慶子、長谷川 悠翔、小出 ひかり、板谷 知明、坂本 いづる、鈴木 優太、樋口 直也



登録番号 3089 (作品番号 149)
Lounge of Miyajima 座るをつくる

提案者

前坂 浩史

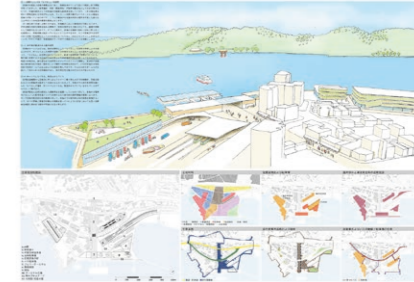
今知亮、柳橋 歩、前坂 宏美、北島 あゆみ



登録番号 3248 (作品番号 165)
門前ポート (port town ∩ gate town)

提案者

許田 昌路



登録番号 3802 (作品番号 170)
もてなしの場所: ゆっくりしたくなる、発見のまちづくり

提案者

田名後 康明

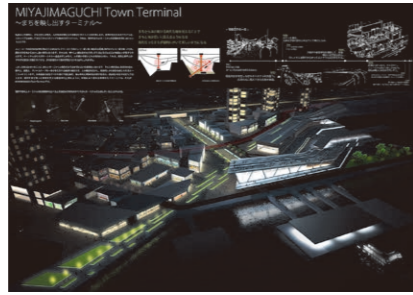
伊藤 廉、Pepe Alessandro、Ramos Joao、川上 直人、Gomes Rita



登録番号 3020 (作品番号 184)
エキスタイル
EKI-STYLE
一駅は宮島口の交歓時間を紡ぐ

提案者

高田 康史



登録番号 3002 (作品番号 198)
MIYAJIMAGUCHI Town Terminal
～まちを映し出すターミナル～

提案者

伊藤 雅人

全 瑛美、松田 宣子、水嶋 輝元



登録番号 3206 (作品番号 207)
歩行者の復権
車に奉仕する街路から人のための街区へ

提案者

林 寛治

林 太郎



登録番号 3421 (作品番号 210)
海を行き交う船と人が創るすばらしい交流を育む町へ

提案者

河西 立雄

太田 奨吾、大塚 響子、矢野 奏子



登録番号 3043 (作品番号 213)
エコ(環境)ミュージアムによる歴史的環境「宮島口の再編」

提案者

(匿名希望)

堅川 雅城



登録番号 7156 (作品番号 226)
瀬戸をいつくしむ門前町

提案者

Hiroki Baba

Shu-Kuei Hsu, Shih Chia Chiu, Liyang Chen, Arisa Nakamura, Midori Fukutani



登録番号 7002 (作品番号 007)
A promising future for a globally connected Miyajimaguchi

提案者

Andreas Kofler

Marcello Tavone



登録番号 3470 (作品番号 011)
人が創り育て護る努力からまちは活気つく事ができる。

提案者

土屋 謹三



登録番号 3230 (作品番号 024)
向き合う対岸

提案者

伊藤 正三



登録番号 3544 (作品番号 032)
森の架け橋 時の架け橋 街の架け橋

提案者

金城 正紀



登録番号 3575 (作品番号 008)
麗しきまちの姿と人々の熱き想い

提案者

竹山 清明



登録番号 3078 (作品番号 017)
棚景

提案者

塚野 路哉

関谷 航



登録番号 3383 (作品番号 030)
宮島口を広島県観光産業のイグニッションに
年間 400 万人訪れる観光客を顧客とするビジネス創造の場に

提案者

木本 泉

小倉 哲雄



登録番号 3871 (作品番号 034)
GREEN HILLS
-Line & Loop City-

提案者

疋田 訓之

岡崎 哲也



登録番号 3201 (作品番号 036)
**花と緑に包まれる丘
— 滞留と回遊を楽しめる、宮島・厳島神社への玄関口—**

提案者
榊原 潤



登録番号 3075 (作品番号 037)
へいあん しらべ
平安の調

提案者
青柳 康夫



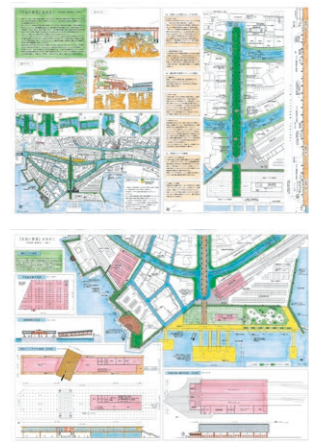
登録番号 3426 (作品番号 055)
原風景となる宮島口

提案者
小林 花純
飯島 瑞、若井 里奈、深谷 理沙子、
細野 茜



登録番号 3704 (作品番号 056)
**泊まらなければなら
ないと感じさせる魅力づ
くり**

提案者
福住 義徳



登録番号 3137 (作品番号 038)
**『宮島口参道』をあるく
～世界遺産「厳島神社」
への誘い～**

提案者
鴻上 八大



登録番号 3365 (作品番号 040)
**まちをつむぐ
文化を継承する景観の
創造**

提案者
花澤 信太郎
小野田 好歩、伊藤 弓乃、小島 永
倫美、佐々木 哲也



登録番号 3138 (作品番号 058)
**宮島に集うすべての人
へのおもてなし空間
「宮島フロント」**

提案者
菅野 広樹
梶ヶ谷 友希、関 研二



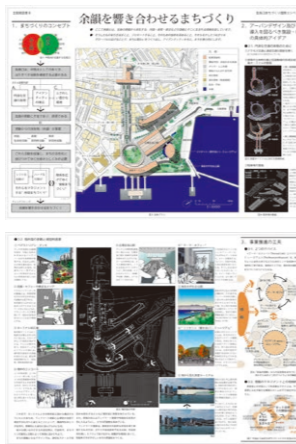
登録番号 3460 (作品番号 059)
**Originality and
Comtemporary**

提案者
梅村 絢矢
川副 育大、青木 秀史、白岩 ひかり、
上間 至



登録番号 3065 (作品番号 044)
**海岸線に集まるハー
バータウン**

提案者
早川 友和



登録番号 3142 (作品番号 047)
**余韻を響き合わせるま
ちづくり**

提案者
(匿名希望)



登録番号 3863 (作品番号 068)
宮島口八景

提案者
石田 摩美子
加曾利 千草



登録番号 3602 (作品番号 074)
**『境内』共に生きる・活
きる暮らし
～地域で紡ぐまちの風景
(人+景観)～**

提案者
川岸 梅和
野田 りさ、三輪 翼、藤江 陸、田
中 隼也、田原 一鳴



登録番号 3429 (作品番号 050)
神との境のまち

提案者
藤崎 美貴



登録番号 3245 (作品番号 054)
**SANDOU
一駅の移設を始めとするイン
フラの積極的改変から 400
万人の素通りを滞留へー**

提案者
山田 泰弘
間宮 晨一千、榊原 充大、神谷 亮賢、
伊藤 雪乃、上奥 璃奈、高田 恭子



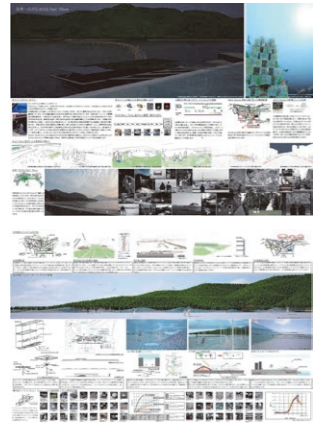
登録番号 3756 (作品番号 078)
**生活がある観光都市。
厚みのある町へ向けて。**

提案者
吉原 弘記
Sandra McKee



登録番号 3580 (作品番号 081)
**照葉樹林に花鳥風月あり、ツ
ナギテがにぎわいをつくり、
案内人は継ぎ人となる。
「海をそだてる。」**

提案者
佐伯 裕武



登録番号 3261 (作品番号 082)
世界へ広がる小さな Shell VBase

提案者

江上 史恭

中園 哲也、名和 研二、金 泰宇、
船津 明、徐 浩然、太田 康介



登録番号 3812 (作品番号 087)
宮島口に居着く島 一歴史を紡ぐ親水参道一

提案者

石川 恒夫

石原 智成、渡邊 翔太、齋藤 俊明、
石川 恒夫、片田 梓麻、郭 瑞



登録番号 3253 (作品番号 127)
とき 時代を彩る宮島口

提案者

大森 貴行

住吉 祐志、加藤 拓也、国生 昌美、
松永 雄介、白川 岳、西尾 洋一郎



登録番号 3813 (作品番号 128)
神おわす島へ 宮島おまいり海道

提案者

松本 浩子

内田 かおる



登録番号 3114 (作品番号 089)
海がつながる 人がつながる 宮島口

提案者

杉田 宗

中山 慎介、桐谷 久代、市村 隆幸



登録番号 3578 (作品番号 101)
扇にひらき、要をめざす 宮島口 扇神社 魅力ある未来と世界へつなぐ

提案者

鶴沢 隆

今 和俊、鶴身 侑未、水越 俊宇、
厚見 慶、白石 珠奈子、駒田 六花、
杉崎 広空



登録番号 3485 (作品番号 134)
宮島の魅力を眺望とアートで交感する宮島口 Way

提案者

栗林 賢次

池田 翔、左近充 翼、佐野 翼



登録番号 3819 (作品番号 141)
タイムスリップ 一歴史をつなぐ今の街一

提案者

松本 貴博

喜多 未咲子、藤田 了、蓑田 詩織



登録番号 3472 (作品番号 119)
ROOTS PEDWAY

提案者

久安 邦明

小原 太樹



登録番号 3737 (作品番号 121)
Green Plats ~ 神の島を臨む “鎮守の森” 一宮島・瀬戸内を世界へ発信するプラットフォーム一

提案者

寺谷 啓史

門谷 和雄、松浦 眞己、上野 三奈



登録番号 3594 (作品番号 157)
宮島口 “鏡ノ間” 計画

提案者

吉田 涼子

魚本 大地、田頭 亜里



登録番号 3413 (作品番号 159)
ストレッチ! ミヤジマグチ

提案者

佐藤 勉

齋藤 隆太郎、フランク・ラ・リヴィエリ



登録番号 3514 (作品番号 123)
神の島への玄関口 ~ 向かい合う神の山と賑わいのまち ~

提案者

谷川 大輔

山縣 怜史、橋目 悠揮、井上 翔太、
檜垣 政宏、松尾 翔、渡部 桃子、
峠 昇汰、塩澤 竜弥、宮瀬 修平、
森川 侑太、中尾 真理子、堀江 正明



登録番号 3665 (作品番号 126)
RE-ORIENTATION MIYAJIMAGUCHI ~ a long long terminal ~

提案者

舟橋 翔太

藤本 朱久里、藤波 勇次、マルコム、
小場瀬 卓志、花島 凜子、塩谷 希武



登録番号 3109 (作品番号 163)
はつかいちノーリッシュシェアタウン

提案者

大賀 行雄

トゥイアン、平木 秀和、大熊 克和、
川崎 圭祐、Myat Kaung、Myat
Myint Zu Tun、今野 政憲、平川
琢也、前田 雄太郎



登録番号 3244 (作品番号 172)
座 宮島口 「3つの座 - 广・土・人 -」 による、宮島口の新たな姿

提案者

Yang Yerim

Katayama Go



登録番号 3241 (作品番号 176)
宮島かいゆう参道

提案者

長谷部 等

中村 康、山下 哲夫、有馬 浩一、
山内 菜都海



登録番号 3540 (作品番号 178)
**海を楽しむ・海から楽しむ
迎賓のまち … 2つの
参道をもつ迎賓港…**

提案者

中井川 正道

上綱 久美子、田村 賢治



登録番号 3085 (作品番号 190)
時がゆるむ湊

提案者

小林 嵩

圓山 王国、矢田 絃馬



登録番号 3723 (作品番号 200)
**miyajimaguchi rhapsody
一人間・空間・時間の
三重奏のまち—**

提案者

栗山 尚子

小西 健友、岡 美里、森川 潤、吉
岡 明剛、財前 美和、原川 圭示、
荒木 爽祐、黒田 知沙、中村 大樹、
森 優也、武田 慎太郎



登録番号 3811 (作品番号 179)
**山、まち、海
～鏡に映る瀬戸内～**

提案者

佐藤 立樹

瞿 寧幸、佐々木 真美



登録番号 3152 (作品番号 180)
**ichi
宮島市がたつ。**

提案者

久保 和樹

黒本 剛史、三文字 昌也、中井 雄
太



登録番号 3058 (作品番号 203)
**海に浮かぶ厳島神社へと誘う
空に浮かぶ参道／軒の連なり
と路地でつくる奥行きのある
門前町**

提案者

渡瀬 正記

永吉 歩



登録番号 3393 (作品番号 206)
**直会 ～瀬戸に向き合
うハナ～**

提案者

大山 雄己

芝原 貴史、伊奈 ゆう子、太田 慈乃、
黒瀬 武史、窪田 亜矢



登録番号 3220 (作品番号 183)
**時空を結ぶ世界遺産へ
の回廊**

提案者

磯村 吉信

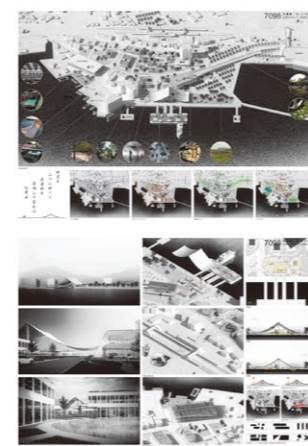


登録番号 3229 (作品番号 186)
**世界遺産観光都市構想
—交通 ミュージウム・
アミューズメント 環境・エネルギー—**

提案者

伊澤 岬

轟 朝幸、江守 央、小林 直明、土
岡 正和、池上 晃司、丹下 幸太、
涌井 匠、天羽 祥太



登録番号 7098 (作品番号 215)
大屋根／BIG ROOF

提案者

Toshihiro Kubota



登録番号 7091 (作品番号 217)
**MODEL FOR MUTUAL
SUPPLEMENT BETWEEN
AGRICULTURE AND
ECONOMY**

提案者

Nedko Krumov

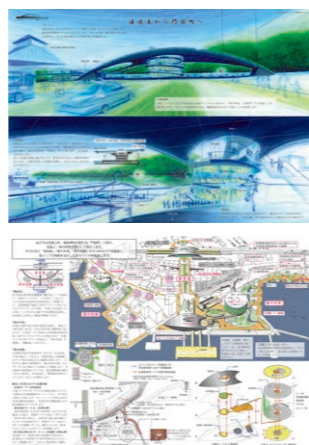


登録番号 3215 (作品番号 187)
**Grand Corridor ～宮島を
望む回廊**

提案者

清水 泰博

清水 順子



登録番号 3291 (作品番号 189)
通過点から門前町へ

提案者

小林 幸司

熊井 健、笠原 卓、中野 淳太



登録番号 7135 (作品番号 218)
**平入り参道 | 妻入り海
岸**

提案者

Raphael Lee

Toshiya Kogawa, Alex Veal



登録番号 7087 (作品番号 224)
ストラクチャー

提案者

Rozita Kashirtseva

Ksenia Boksberg



登録番号 7145 (作品番号 225)
KAMI NO TSURO (神の通路)

提案者

Julia Watson



登録番号 3287 (作品番号 228)
**多層的建築・ランドスケープによる宮島口の提案
～空と海の輝きに向けて～**

提案者

大角 祐稀

定行 桃、京條 仁彦、玉井 佑典

全応募作品 / 230 作品

審査結果	登録番号	作品番号	タイトル
優秀賞 (3 作品)	3330	016	宮島口【和の美、見立てと縮景】のまちづくり
	3141	094	海の上 山の下 一瀬戸に栖むまち
	3587	182	もうひとつのハレ舞台へ 宮島口
佳作 (5 作品)	3860	107	宮島雁木町
	3829	142	ヒト繋がり木軸舞台
	3729	153	歴史と未来、地元と観光客、混じり合い・助け合い・育み合うまち「宮島口」
	3412	155	しま うみ はじめ ～島と海との関係が緑を介し蘇る、新たなはじまりの地へ～
	3768	158	風景の導き
特別賞	7005	230	植える 繋げる 招く (plant connect engage)
本審査 1次通過 作品 (36 作品)	3259	001	宮島口に世界遺産にふさわしい、新しい「緑の参道」をつくる そして世界中の人と交わり、国際的な「新しいまち」へ変わる
	3036	003	瀬戸内のきらりと光る小さな街—新たな門前町・宮島口の近未来を描く
	3077	013	宮島への通過点から、滞在する地へ 対岸だからこそ味わえる体験・風景・空間・時間
	3596	014	厳島と宮島口との関係
	3214	018	ケを彩色する
	3610	025	宮島口は海の参道 世界遺産にふさわしい参道のしつらえと、おもてなし作法のデザイン
	3679	031	風・土・森・海 一宮島口を世界と未来へつなぐ参道ネットワーク
	3018	035	「繋がり」のまちづくり
	3621	064	Mail 「旅する建材」がつくる風景 ～世界中からはがきで参加する都市～
	3389	066	M-GATEWAY: 世界をつなぐ「宮島口新八景」
	3695	073	ヒト・モノ・体験・情報をつなぐ、つながっていく。宮島口プレイスによるこそ!
	3635	077	扇によってつながる宮島口
	3374	083	宮島口 WEB(World Engaging Bridge) 構想 旅人の心を奪う いとおかしきまち 食・楽・美で満たされる優しい場所
	3074	099	～ 1000 年前の記憶・風景を 1000 年先に伝承する～
	3011	100	天と地の風景 一宮島口「つなぐもの」と「つながれるもの」を「変わるもの」と「変わらないもの」でつくる魅力的な景観
	3122	103	実在へのまなざし 厳島の佇まいにまなざしを向けて
	3194	112	Cultural Green Raft
	3735	115	風の結節点
	3093	116	屋根の社
	3481	118	聖の宮島、俗の宮島口
	3144	122	屋根でつながるマチの風景
	3574	132	未来へ・世界へ。自立した地域へ。
	3306	135	げにおもしろき景色かな 鳥居の見える海の汀に人あふれ…
	3720	143	いつく、いつくしむ、いつくしまぐち。
	3878	145	祝祭空間としての宮島口
	3746	146	宮島口 (山側・海側)、宮島が Win-Win-Win の関係となる場をつくること
	3098	147	間 境新生 「間」のまち宮島口に都市生態系を育む
	3089	149	Lounge of Miyajima 座をつくる
	3248	165	門前ポート (port town 〇 gate town)
	3802	170	もてなしの場所: ゆっくりしたくなる、発見のまちづくり
	3020	184	EKI-STYLE 一駅は宮島口の交歓時間を紡ぐ

審査結果	登録番号	作品番号	タイトル
	3002	198	MIYAJIMAGUCHI Town Terminal ～まちを映し出すターミナル～
	3206	207	歩行者の復権 車に奉仕する街路から人のための街区へ
	3421	210	海を行き交う船と人が創る すばらしい交流を育む町へ
	3043	213	エコ (環境) ミュージアムによる歴史的環境「宮島口の再編」
	7156	226	瀬戸をいつくしむ門前町
	7002	007	A promising future for a globally connected Miyajimaguchi
	3575	008	麗しきまちの姿と人々の熱き想い
	3470	011	人が創り育て護る努力からまちは活気つく事ができる。
	3078	017	棚景
	3230	024	向き合う対岸
3383	030	宮島口を広島県観光産業のイグニッションに 年間 400 万人訪れる観光客を顧客とするビジネス創造の場に	
3544	032	森の架け橋 時の架け橋 街の架け橋	
3871	034	GREEN HILLS -Line & Loop City-	
3201	036	花と緑に包まれる丘 一滞留と回遊を楽しめる、宮島・厳島神社への玄関口	
3075	037	へいあん しのぶ 平安の調	
3137	038	『宮島口参道』をあるく ～世界遺産「厳島神社」への誘い～	
3365	040	まちをつむぐ 文化を継承する景観の創造	
3065	044	海岸線に集まるハーバータウン	
3142	047	余韻を響き合わせるまちづくり	
3429	050	神との境のまち	
3245	054	SANDOU 一駅の移設を始めとするインフラの積極的改変から 400 万人の素通りを滞留へ	
3426	055	原風景となる宮島口	
3704	056	泊まらなければならぬと感じさせる魅力づくり	
3138	058	宮島に集うすべての人へのおもてなし空間「宮島フロント」	
3460	059	Originality and Comtemporary	
3863	068	宮島口八景	
3602	074	『境内』共に生きる・活きる暮らし～地域で紡ぐまちの風景 (人+景観) ～	
3756	078	生活がある観光都市。厚みのある町へ向けて。	
3580	081	照葉樹林に花鳥風月あり、ツナギテがにぎわいをつくり、案内人は継ぎ人となる。「海をそだてる。」	
3261	082	世界へ広がる小さな Shell VBase	
3812	087	宮島口に居着く島 一歴史を紡ぐ親水参道	
3114	089	海がつながる 人がつながる 宮島口	
3578	101	扇にひらき、要をめぐす ～魅力ある未来と世界へつなぐ～	
3472	119	ROOTS PEDWAY	
3737	121	Green Plats ～神の島を臨む「鎮守の森」一宮島・瀬戸内を世界へ発信するプラットフォーム	
3514	123	神の島への玄関口 ～向かい合う神の山と賑わいのまち～	
3665	126	RE-ORIENTATION MIYAJIMAGUCHI ～ a long long terminal ～	
3253	127	時代を彩る宮島口	
3813	128	神おわす島へ 宮島おまいり海道	
3485	134	宮島の魅力を眺望とアートで交感する宮島口 Way	
3819	141	タイムスリップ 一歴史をつなぐ今の街	
3594	157	宮島口「鏡ノ間」計画	
3413	159	ストレッチ! ミヤジマグチ	
3109	163	はつかいちノーリッシュシェアタウン	
3244	172	座 宮島口 「3つの座 - 人・土・人 -」による、宮島口の新たな姿	
3241	176	宮島かいゆう参道	
3540	178	海を楽しむ・海から楽しむ迎賓のまち … 2つの参道をもつ迎賓港…	
3811	179	山、まち、海 ～鏡に映る瀬戸内～	
3152	180	宮島市がたつ。	
3220	183	時空を結ぶ世界遺産への回廊	
3229	186	世界遺産観光都市構想 一交通 ミュージアム・アミューズメント 環境・エネルギー	
3215	187	Grand Corridor ～宮島を望む回廊	
3291	189	通過点から門前町へ	
3085	190	時がゆるむ湊	
3723	200	miyajimaguchi rhapsody 一人間・空間・時間の三重奏のまち	
3058	203	海に浮かぶ厳島神社へと誘う空に浮かぶ参道/軒の連なりと路地地をつくる奥行きのある門前町	
3393	206	直会 ～瀬戸に向き合うハナ～	
7098	215	大屋根 / BIG ROOF	
7091	217	MODEL FOR MUTUAL SUPPLEMENT BETWEEN AGRICULTURE AND ECONOMY	
7135	218	平入り参道 妻入り海岸	
7087	224	ストラクチャー	
7145	225	KAMI NO TSURO (神の通路)	
3287	228	多層的建築・ランドスケープによる宮島口の提案～空と海の輝きに向けて～	

審査結果	登録番号	作品番号	タイトル
	3852	002	宮島まちづくりへの提言
	3160	004	the gate
	3007	005	—
	3159	006	まちには居場所がちゃんとある
	3009	009	利用者視点に立った宮島口整備の提案
	3050	010	宮島を中心としたマリンワールド構想
	3197	012	宮島口ルネッサンス 参道を正しく通し、厳島に相応しい門前町として場を整える
	7024	015	—
	3955A	019	—
	3953A	020	ドリームセンターの計画案
	3612	021	宮島口 彩り界限 IRODORI KAIWAI (瀬戸内の自然環境と一体になる場所)
	3463	022	厳島神社とその背後にあるものを、未来と世界へとつなぐ「まちづくり」
	3069	023	宮島口計画提案
	3223	026	共に・つながり・生み出す・風景へ (建築構成参加プログラム)
	3294	027	輪で繋ぐ千年紀行
	3604	028	宮島口の出会いは、スマートな驚きです。
	3702	029	原始宮島境内・参道口の構想
	3401	033	Extended Stay -let's rest a day-
	3592	039	明日も、いたい宮島口
	3557	041	未来 市の宮 MIYAJIMAGUCHI
	3560	042	減築される地盤 - 宮島口に現れる海-
	7108	043	New Life of Miyajimaguchi Area Gateway to Miyajima Island
	3512	045	人と自然と文化を結ぶ町
	3340	046	THE BEACON THE BEACON は灯台が船を導くように宮島口へ人々を導く
	3775	048	“架け橋”と“ふれあい”
	3289	049	Many Door's from 宮島口
	3400	051	もみじまち A MICRO INFRASTRUCTURE PROJECT
	3518	052	つなぎ結び幸せにするまちづくり
	3407	053	白く美しいまち みやじまぐち
	3928	057	machi ホテル
	3706	060	新しい舞台の創造
	3427	061	ちいさい「あき」みつけた ~若者が創り出す文化・伝統の発信地としての宮島口~
	3669	062	LAND ⇄ SEA
	3167	063	「宮島口でひと休み」
	7074	065	これからも千年。 - 未来へ育む宮島口-
	3037	067	劇空間・交流広場と風のデザイン
	3100	069	「日本の心」を宮島口に創生 - 日本心：自然と調和し、健やかな心持で時を過ごす-
	3576	070	色褪せることない新たな宮島口を目指して
	3497	071	—
	3705	072	海へとつなぐまち
	3231	075	海上の参道
	3227	076	宮島口“愛”ランド計画
	3840	079	ひといきつける観光地
	3110	080	『世界遺産・宮島(厳島神社)』の玄関口~宮島口を魅力ある未来と世界へつなぐ~
	3452	084	臨海緑地 うみ にわ
	3012	085	参差錯落
	3716	086	神の島を抱く - 宮島口のリリースム
	3906	088	みやじまエントランス しおまちひろば
	3163	090	「世界遺産・宮島(厳島神社)の玄関口」~宮島口を魅力ある未来と世界へつなぐ~
	3049	091	宮島口デッキ
	3212	092	1つの輪で、まち全体を、まとめよう
	3186	093	宮島口 天空参道+未来街区~広島・宮島 広域平和・文化都市圏~
	3449	095	「きんざい 宮島 弥山にも のぼりんざい」
	3442	096	旅の目的地は宮島口です
	3285	097	ココロ清まる、宮島口
	3367	098	宮島口・参道陸橋
	3293	102	『いにしえモダン』の新たな物語りを始めよう。宮島と向き合う宮島口を革めてつくろう。
	3414	104	輝壇 - 緑でつながる人の輪とまちの記憶-
	3162	105	海の道、海の都 日本の海洋文化を復権させ、その発信地となる宮島口
	3745	106	宮島に思いを馳せる
	3510	108	宮島口まちづくり計画書
	3235	109	世界の人々を包み込む大らかな屋根
	3672	110	CO-Making PLACE
	3659	111	4K-MIYAJIMAGUCHI DEVELOPMENT

その他
作品
(127 作品)

審査結果	登録番号	作品番号	タイトル
	3880	113	歩き祭る
	3752	114	海の参道
	3096	117	ご縁の杜
	3134	120	Pleasant Garden Heritage for Next Generation
	3891	124	いつくしむ森 [慈しむ杜]
	3408	125	育まれる建築 九十九式年建築による新たな世界遺産
	3915	129	社に馳せて
	3363	130	緋の杜
	3292	131	700 年を経て清盛に挑戦状! 瀬戸内海に寄り添いそして生まれ
	3782	133	100 年単位の歴史を支え、次世代につながるまちづくり GATEWAY VILLAGE ~宮島グローバル~
	3080	136	ターミナルからシーサイドリゾートに向けて 地域の企業・住民による、地域のための再開発の提案
	3694	137	美しい国ニッポン、そして宮島口
	3541	138	廿日市をグローバルタウンへ
	3265	139	LOOP 2
	3883	140	宮島口に網をかける 自動車の排除と低層高密度のポリウム群による定住人口と滞在人口の増加
	3942	144	エコ・カルチェ 宮島口 ~立体的都市空間の創出~
	3329	148	Candle ガイドブックのない都市 City without Guide Book
	3549	150	モミジの杜で自然と一体となった景観を取り戻す 宮島口を通過する町から滞留する町へ変化させる交通計画
	3572	151	未来は過去の中 (壊さない建築家の一提案)
	3211	152	瀬戸内の自然に抱かれるまち
	3128	154	育てよう。未来の歴史
	3646	156	杜を創る
	3176	160	海をまたぐ緑の門前町
	3527	161	遠い昔 御神体 厳島は 宮島口のどこからでも望めるランドマークであった 失われた視覚的 心理的 一体感 そして 門前町としての賑わい これの復権が いま はじまる かつて 海を参道と見立てた 大胆な発想に立ち返って
	3488	162	a-round wharf ~島と人とがめぐりあう まあるい波止場~
	3656	164	回廊と舞台と塔楼
	3358	166	宮島へのパノラミックな眺望を活かした街づくり
	3750	167	にじんでゆく生彩
	3379	168	文化と交流のまち - 交通インフラからつくる新たな都市像-
	3925	169	みてるの地、みちるの日々
	3019	171	宮島口からの歴史的なエレベーションの背景に潜む、空間に奥行きを与える作法
	3872	173	海の見える風景を再生する - 宮島口における公共空間の再編計画-
	3792	174	宮島の非日常、対岸の日常 ~失われた流れを取り戻すには~
	3511	175	里海×里山
	3448	177	紅葉 変様 宮島口
	3923	181	厳島文化圏の点と線と三角形
	3446	185	朱箱
	3359	188	天空カプセルロード
	3189	191	景を臨む参道
	3509	192	連綿態(れんめんたい) RENMEN-TAI - 宮島口まちづくり計画-
	3499	193	浄土 Pure Land
	3932	194	「宮島口」やめるってよ!
	3814	195	from 宮島口 to the place where it boasts to the world
	3073	196	駅前参道広場計画
	3055	197	現代版宮島参詣 ~宮島口が形成する「特別な場所」宮島~
	3046	199	宮島の歴史、文化を感じ、世界へと発信するターミナル
	3501	201	海の参道 整備構想 ~海上社殿造営 900 周年に向けての展望~
	3256	202	とけあう 溶け合う 解け合う 訪れるたびに新しい宮島口
	3299	204	Re-Maintenance ~宮島口を魅力ある未来と世界へつなぐ~
	3125	205	拡がる波紋
	3556	208	対域一対(タイ・ツイ・むかう・こたえる) -
	3952	209	SANDŌ - MIYAJIMA と世界へつながる道をつくる
	3008	211	—
	3198	212	宮島口の成長 - PARKING PARK-
	3331	214	コヤ、ヒロバ、界限、生業
	7148	216	A GATEWAY TO THE WORLD・AN INHERITANCE OF THE TRADITION 世界へのゲートウェイ・伝統の継承
	3629	219	あかりの燈るまち 宮島口 ~世界と歴史をつなぐゲート~
	7031	220	Symbiotic Miyajimaguchi 2.0
	7081	221	—
	3314	222	対岸門前町 MIYAJIMAGUCHI 緑・風・水・太陽を間近に感じて 多文化×ローカルの出合うまち
	7090	223	宮島口まちづくり国際コンペ
	3267	227	日本の Utopia - 「地球の未来を探しに行こう!」世界の子どもたちが宮島へ -
	3017	229	宮島口の課題と対策

その他
作品
(127 作品)